

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

高知市教育委員会

総事業費	3,053,000円	補助対象額	3,053,000円	交付決定額	1,526千円	事業件数	2件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	進捗状況												事業費執行済額	事業費執行済額
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
事業名 高知市小中連携推進事業 市内8中学校区を指定し、次に掲げる小中連携に関わる事項において研究を進める。 (1) 学力向上に関すること (2) 体力向上に関すること (3) 生徒指導に関すること (4) 教育課程に関すること (5) その他必要と認められる事項 各校区が取り組む具体的な内容は、次のとおりである。 ① 小・中学校教員の相互乗り入れ授業の実施 ② 小中合同の学校行事や合同研修会(教科、学習習慣、学習規律等)に関する合同研究会等の実施 ③ 家庭学習アンケートの実施 (対象:小学校4・5・6年生・中学校全学年、時期:4・6・10・12・2月) ④ 小中連携に関するアンケート調査 (平成22年度の中学1年生を対象として4月と1月に実施) ⑤ 年間3回の小中連携推進指定校連絡会の開催(5・11・2月) ⑥ 事業に係る必要書類の作成(計画書・報告書・予算書等)															
事業費 2,000,000円 補助対象額 2,000,000円	○ 小・中学校の教員の情報共有が行われるようになり、子ども理解が深まってきている。 ○ 小・中学校の教員による相互乗り入れ授業を実施することにより、授業が改善されている。	○ 夏学期研修を小・中合同で実施することで、教員同士の意思疎通が図られ、9年間を見通した教育課程の編成に向けた意図の向上が図られている。(5中学校区) ○ 管理職や小中連携担当教員による情報交換や授業参観が図られている(3中学校区)													
事業名 地場産物を活用した学校給食による食育推進事業 1 校長会、新入校、養育教諭や栄養教諭・学校栄養職員等の研修会を通じて教職員の食育についての理解を深め、学校教育活動全体で食育を推進していくための体制づくりや食に関する指導の全体計画作成等の向上を図る。 2 学校・家庭・地域が連携して学校給食への地場産物の活用や体験学習を行い、栄養教諭や学校栄養職員が中心となり、学校給食を生きた教材として効果的な食育を進める。 3 食育の改善や給食時間等の充実等、学校給食の魅力を高めるための取り組みを行う。 4 上記1～3を進めていくために、栄養教諭配置の小学校を食育実践モデル校として指定し、成果を普及啓発する。 5 食育実践モデル校の取組発表や講演、学校給食の紹介イベント等を行い、学校関係者や保護者、広く一般の方にも地場産物活用の重要性や食育についての理解を深めてもらう。 参加対象:児童生徒・教職員・保護者・一般など約600名参加予定 実施時期:2月上旬 会場:高知市文化プラザからぼーと大ホール	食育実践モデル校による取り組み推進	○ 1学期 自由設立で地場産物活用 ○ 栄養教諭等連絡会で食育実践発表会の計画を検討 ○ 給食指導資料の改訂検討 ○ 食育実践モデル校では、栄養教諭を中心とした食に関する指導や体験学習、講演会等が実施されている。													
事業費 1,053,000円 補助対象額 1,053,000円															
事業名															
事業費															

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

室戸市教育委員会

総事業費	2,997,900円	補助対象額	2,713,000円	交付決定額	1,356千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	内容	進捗状況												事業費執行額	補助額	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	事業名 室戸市学力向上アクションプラン ○室戸式チェックテストを実施し、市全体の傾向を把握するとともに、個々の子どもの学力を分析・把握する。 【対象：小学6年生(算数、国語科)、中学2年生(数学) 実施回数：2回(年度当初、年度末)】 ○モジュール検定等を実施し、基礎的学力を向上させる。(各校の実況にあわせて実施) ○室戸市教育研究員協議会にて取組の方向性を定め、各校の学力の現状と取組を報告し、自校の取組に活かす。 【対象：各校1名、教育研究所研究員、校長会会長等 実施時期：5月、11月、2月】 5月～11月1回チェックテストの分析結果、今年度の各校取組計画の調査交換 11月～各校取組の調査交換、研修等 2月～1回チェックテストの分析結果、今年度の各校取組の検証、次年度の取組について ○進捗状況の把握と評価、取組計画や研究取組を実施し、8月の授業改善に活かす。 【対象：研究員、教員、指導員等 実施時期：6月、11月、2月予定】 ○取組の進捗状況、取組内容を報告する。 ○保護者へ教育の取組について、特に9月ギャップをなくするための具体的な取組について積極的に推進し、学力を高める心や態度を育成する。	○4月：室戸式チェックテスト実施 ○5月：室戸式チェックテスト実施 ○6月：室戸式チェックテスト実施 ○7月：室戸式チェックテスト実施 ○8月：室戸式チェックテスト実施 ○9月：室戸式チェックテスト実施 ○10月：室戸式チェックテスト実施 ○11月：室戸式チェックテスト実施 ○12月：室戸式チェックテスト実施 ○1月：室戸式チェックテスト実施 ○2月：室戸式チェックテスト実施	165,440円	300,000円	300,000円	○問題行動・長期欠席・不登校等に関する調査において、長期欠席・不登校(傾向も含)児童生徒数を現状より20%程度の減に改善される。 H22 長欠等121名減 → H22 18名 小学校 H21 13名 → H22 18名 中学校 H21 86名 → H22 11名 ○児童生徒アンケートで「学校生活に満足している」と回答する児童生徒の割合(そう思う+ややそう思う)について8割以上に改善される。(H21 学校評価児童生徒アンケートにおいては7割弱) ○保護者アンケートで「学校生活に満足している」と回答する保護者の割合(そう思う+ややそう思う)について8割以上に改善される。(H21 学校評価保護者アンケートにおいては7割弱)										
2	事業名 室戸市学力ある学校づくりアクションプラン ○生活指導上の課題を解決するためのプログラム(生活点検・授業評価等)を各校で作成し、実行する。 ○主体的な学校づくり・風土づくりを進めるために取組を推進し、取組を進める。 【対象：教員 実施時期：6月予定 内容：風土づくり・児童生徒の主体的活動を促すための取組と取組】 ○児童会・生徒会等の取組を進め、自校の取組に活かすとともに、お互いに高めあうリーダーを育成する。 【対象：小中学校児童会、生徒会役員、役員、教員、教育研究所、本校教員等 実施時期：6月予定 内容：取組プログラム・取組活動、各校の取組紹介等】 ○取組レポートを作成・配付し、地域や保護者へ紹介するとともに、各校内の取組を連携する。 【配布対象：児童会、保護者、関係機関、教員 配布時期：8月 内容：室戸市の取組報告、各校取組報告等】	○4月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○5月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○6月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○7月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○8月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○9月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○10月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○11月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○12月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○1月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成 ○2月：生活指導上の課題を解決するためのプログラム作成	347,162円	721,200円	638,000円	○児童の外国語活動への満足度(好き+どちらかといえば好き)の割合を8割以上の水準に保つことができる。(H21 佐喜浜小においては93%) ○小学校外国語活動の35時間分の年間指導計画を作成・実行・評価改善することと、次年度以降の外国語活動につなげることが出来る。 ○中学校区での支援・研究体制が確立される。										
3	事業名 室戸市外国語活動推進事業 ○教員が小学校への進級研究を実施する。 (分級授業実施上、適切な指導法を研究し、指導等) ○市内の小中学校へ取組を紹介し、研究促進を図る。 (室戸市小中学校外国語活動推進委員会…参加対象：小中学校外国語活動推進委員、小中学校外国語活動推進委員) 実施回数：年度3回程度、内容：年間指導計画・小中連携体制の調査交換、公開授業、取組紹介研修等 ○小中の連携を促した研究を推進する。 (分級授業への参加、小中学校外国語活動推進委員会・市教育委員会との小中連携の参加) ○取組を小学校・小中学校外国語活動推進委員会・市教育委員会と連携し、研究を進める。	○4月：教員が小学校への進級研究を実施する ○5月：教員が小学校への進級研究を実施する ○6月：教員が小学校への進級研究を実施する ○7月：教員が小学校への進級研究を実施する ○8月：教員が小学校への進級研究を実施する ○9月：教員が小学校への進級研究を実施する ○10月：教員が小学校への進級研究を実施する ○11月：教員が小学校への進級研究を実施する ○12月：教員が小学校への進級研究を実施する ○1月：教員が小学校への進級研究を実施する ○2月：教員が小学校への進級研究を実施する	68,443円	200,000円	200,000円	○問題行動・長期欠席・不登校等に関する調査において、長期欠席・不登校(傾向も含)児童生徒数を現状より20%程度の減に改善される。 ○保育所・小学校・中学校等の連携を学期毎1回以上開催することで、虐待(虐待の可能性のある事例も含める)等の情報の共有を図ることが出来る。 ○「個人情報」を活用し、支援につなげるためのシステムが構築される。 ○QUアンケートにおける「学校生活満足度群」の児童生徒の割合をH21年度比各10ポイントに改善される。										
4	事業名 室戸市自立支援アクションプラン ○O-Uアンケート実施・分析により、個々の課題と支援の状況を把握し、未然防止・早期対応を図るとともに、この情報の一元化を図る。 (O-Uアンケートの実施・分析・分析及び活用の方針についての研修会の実施、「誰もが学びやすい環境」における課題の調査・分析を行う。場所：市役所会議室 対象：教員等) ○進級指導支援活動に活用可能な取組を実施する(取組推進委員とのつながりの重視)。 (協力対象：保護者や個人等) ○取組の進捗状況を把握し、自立を促す取組を実施する。 (保護者、学校現場でのつながり、関係機関及び関係機関との連携) ○個人特性(過去の支援歴)を把握し、登録した「個人情報」による情報の整理・検証を行い、電話した支援につなげるためのシステムを構築する。 (取組：関係機関との連携及び支援 関係機関と連携し情報を収集する。)	○4月：O-Uアンケート実施・分析 ○5月：O-Uアンケート実施・分析 ○6月：O-Uアンケート実施・分析 ○7月：O-Uアンケート実施・分析 ○8月：O-Uアンケート実施・分析 ○9月：O-Uアンケート実施・分析 ○10月：O-Uアンケート実施・分析 ○11月：O-Uアンケート実施・分析 ○12月：O-Uアンケート実施・分析 ○1月：O-Uアンケート実施・分析 ○2月：O-Uアンケート実施・分析	459,400円	1,776,700円	1,675,000円	○問題行動・長期欠席・不登校等に関する調査において、長期欠席・不登校(傾向も含)児童生徒数を現状より20%程度の減に改善される。 ○保育所・小学校・中学校等の連携を学期毎1回以上開催することで、虐待(虐待の可能性のある事例も含める)等の情報の共有を図ることが出来る。 ○「個人情報」を活用し、支援につなげるためのシステムが構築される。 ○QUアンケートにおける「学校生活満足度群」の児童生徒の割合をH21年度比各10ポイントに改善される。										

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

安芸市教育委員会

総事業費 2,493,300円 補助対象額 2,493,300円 交付決定額 1,246千円 事業件数 3件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	スケジュール(月別)の進捗状況												事業費執行済額	事業費執行済額	備考	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
事業名 地域教材を生かした副読本の開発～「わたしたちの安芸市」の作成～ 1. アンケートの実施 「安芸市の歴史上の人物アンケート調査」を実施し、児童生徒の安芸市の歴史上の人物に興味を持ってもらうとともに、アンケートの結果を副読本の作成に生かしていく。 対象: 安芸市内小学校3年生～中学校3年生 2. 社会科副読本改訂編集委員会(年8回) 第1回 副読本改訂の趣旨及び予算・改訂計画 第2回 副読本単元分組 第3回 編集計画・内容(単元・題材・項目など) 第4回 執筆上の課題の検討・下書き準備 第5回～8回 一次原稿の検討 3. 児童の副読本資料づくりや体験活動 ○校區探検(対象:小学3年生) 校區にある施設・産業・自然を知るためのフィールドワークをする。学校周辺の地図を作成し、副読本の資料とする。	編集計画の作成 編集委員依頼	第1回社会科副読本改訂編集委員会	第2回社会科副読本改訂編集委員会	第3回社会科副読本改訂編集委員会	第4回社会科副読本改訂編集委員会	第5回社会科副読本改訂編集委員会	第6回社会科副読本改訂編集委員会	第7回社会科副読本改訂編集委員会	第8回社会科副読本改訂編集委員会	一次原稿検討	一次原稿検討	一次原稿検討	副読本の構成を決定し、各単元の担当が地域性を重視しながら資料収集・取材を行うなど計画通りに進んでいる。今後は、副読本の資料作成に、より児童に関わってもらうように計画し、児童の活動と資料作成を組み込みながら児童と共に改訂作業を進めていきたい。	498,000円	498,000円	○児童に資料作りに関わってもらうことで、自分たちの住んでいる地域を知り、地域のすばらしさを実感することができる。 ○副読本の資料作りに関わった児童へのアンケート調査を実施し、地域の良さを知ることができた児童の率80%をめざす。
事業名 学校・保育所・家庭・地域の連携による保・小・中の一貫した質の高い学びの姿勢づくり ○保・小連絡会を定例化し充実を図る。 ○保・小合同の保護者を開催する。 ○保・小・中の行事を通じての相互交流を促す。 ○小・中の教科の学習内容の学びの連続性が効果的につながるように、内容項目ごとに連携を意識した教材研究や指導法を工夫する。小・中合同での授業研究会を開き、具体的な内容についてよりよい取り扱いを協議していく。 ○進路保障につながる基礎学力の定着及び学力の向上を図るため中学校の学習を支援する。 ○学びの姿勢づくりについて講師を招聘し、技術合同で講演会を開催し研修する。 ○公民館等の地域行事への積極的な参加を促し、子どもたちが幅広い年齢の集団で活動できる機会を多くつくる。	第1回事務局会	第2回事務局会	第3回事務局会	第4回事務局会	第5回事務局会	第6回事務局会	第7回事務局会	第8回事務局会	第9回事務局会	第10回事務局会	第11回事務局会	第12回事務局会	保小中連携教育についての意識や必要性を認識していただくために、管理職対象の講演会や、教員に対するアンケート調査、また「連携便り」を発行して保小中連携教育に対する意識の向上を図った。結果、少しずつ校區ごとに連携を意識した取組が進められるようになってきている。	1,755,000円	1,755,000円	○子どもの健康やあるべき学びの姿勢などに関して保護者の意識を喚起することができる。 ○小中の教員が授業をする上で今まで以上に教材の系統性を意識して指導できるようになる。 ○子ども同士の相互交流により自分より幼い子どもへの配慮、年上の者への尊敬など質の高い人間関係が築かれる。 ○数値目標は年度末アンケート調査より、質の高い傾向へのアンケートが80%を超えるところをめざす。
事業名 生涯学習推進事業 ○文化財史跡めぐり 広島県福山市朝の浦の文化財を市民を対象に史跡めぐりする。朝の浦は坂本龍馬ゆかりの地であり、安芸市出身の岩崎弥太郎との関係も深く、郷土の偉人の歴史を学習することにより、郷土愛を育み、歴史学習を通じた生涯学習へとつなげていく。 ○しろやま、たんけん! 戦国時代、安芸氏の居城として栄え、江戸時代には土佐藩家老の五藤家が山麓に館を構え、周辺を控えてきた安芸城跡。この城山の歴史や雄略を学習するとともに、身近な森を観望し、城山の魅力を再発見する催しを小学生を対象に3回開催する。	計画			・夏のしろやま、たんけん! ・夏のしろやま、たんけん!	・夏のしろやま、たんけん! ・文化財史跡めぐり事前現地視察(広島県福山市朝の浦)								「文化財史跡めぐり」の参加者が、史跡を効果的にまわるようにするための事前現地視察を行った。 夏のしろやま、たんけん!を開催。安芸城跡にある五藤家内を探検し、今の家との違いを調べたり、城跡周辺の空にある雲の観察などを行った。	242,300円	242,300円	○大河ドラマ「龍馬伝」にあわせ、安芸市出身の岩崎弥太郎との関係も深い地域を訪れることにより、郷土の偉人の歴史を学習し、歴史学習を通じた生涯学習につなげる。 ○子どもたちから地元に残っている遺跡に触れることで、身近にあるものの魅力を再発見し、郷土の歴史に興味を持たせる

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

総事業費	30,429,816円	補助対象額	8,819,258円	交付決定額	4,409,000円	事業件数	3件
<p>事業名 南国市小中連携学力向上推進プロジェクト事業</p> <p>【目的】全国学力・学習状況調査等の結果分析からみられる本市の教育課題の解決に向けて、小中連携による組織的なPDCAサイクルを確立するとともに、地域の特色や課題に応じた中学校区ごとの連携教育の充実を図る。</p> <p>【主な取組内容】</p> <p>(1)推進委員会の設置及び開催(年6回程度)(集約、基本計画、H23計画) ①5月20日 ②7月30・31日 ③10月26日 ④11月11日 ⑤12月2日 ⑥2月24日</p> <p>(2)研究主任会の開催(年4回程度) ①5月20日 ②7月5日 ③8月27日 ④10月28日</p> <p>(3)4中学校ブロック実践交流の実施(1月6日(木)午後 実践発表)</p> <p>(4)学習に関する実態調査の実施(年3回実施)</p> <p>(5)先進モデル校(地域)視察研修(福岡市 豊原市 年2回実施予定)</p> <p>(6)授業改善のための研修会の開催 「これからの授業を考える会」(年2回実施) ①6月19日 ②1月22日</p> <p>(7)コーチング研修の開催 教員の資質・指導力の向上を目指した組織マネジメント研修 ①8月2・3日(香長・香南ブロック) ②8月4・5日(高ヶ池・北股ブロック)</p>							
事業費	4,800,000	補助対象額	4,800,000				
<p>事業名 小学校外国語活動支援事業</p> <p>【目的】高知工科大学や南国市国際交流協会、高知大学農学部、退職校長等、関係機関の積極的な連携・支援により、小学校外国語活動の推進体制の整備・充実を図り、平成23年度完全実施に向けたスムーズな導入を図る。</p> <p>【主な取組内容】</p> <p>(1)各中学校区の小学校が連携(小中連携)した外国語活動の推進・大学教授等によるスーパーバイザーの活用</p> <p>(2)教育課程の研究及び教員の指導力の向上 ・退職等校長を活用した校内研究への支援</p> <p>(3)外国語活動支援員の配置による授業力向上 ・小学校それぞれに週1回(4h)配置。支援員は2~3校兼務する。</p>							
事業費	3,745,200	補助対象額	3,745,200				
<p>事業名 特別支援教育支援員配置事業</p> <p>【目的】通常学級及び特別支援学級に在籍している特別な支援が必要な児童生徒への個に応じた支援の充実を図る。</p> <p>【主な取組内容】</p> <p>(1)特別支援教育支援員の配置による個に応じた支援の充実</p> <p>(2)特別支援教育支援員研修会の開催 ・市教委主催で年1回~2回開催 内容:特別支援教育の理解及び障害の特性やかかわり方等の研修</p>							
事業費	21,884,616	補助対象額	274,058				

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ予定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

土佐市教育委員会

総事業費	9,112,100円	補助対象額	9,112,100円	交付決定額	4,556千円	事業件数	3件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成状況
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業名 基礎学力定着事業(問題データベース) 計画 到達度把握テスト・全国学力学習状況調査の結果を受け、教科書やドリル等では定着するのに不十分な部分がある。そこで、土佐市内の小・中学生の基礎学力の確実な定着を目指し、東京書籍の問題データベース(小学校には国語の1教科を中学校には国語・数学・英語の3教科)を導入する。授業の中や加力指導、また家庭学習等の場面で有効に活用することで、児童生徒の学力向上を目指す。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信	計画 校長会にて問題データベースについて説明。 実施 4月15日東京書籍と契約し、各小中学校に(スワード)を配信
事業名 外国語活動推進事業(ALT) 計画 中学校においては、前年度同様外国人講師による生徒への語学指導を継続して実施する。小学校においては学習指導要領の改訂により、外国語(英語)活動が教育課程上明確に位置付けられたことから、小学校5・6年生での外国語(英語)活動が年間35時間必修となって位置付けられる。昨年度と平成22年度は移行期間中ではあるが平成23年度の全面実施に向けて年間35時間取り組みを始めている。昨年度はALTが小・中学校で1人ということもあり、小学校においては十分な活用ができず、非常に困難を極めた。そこで、今年度はALTを2名に増員することで新教育課程へのスムーズな移行を実現させたい。 実施 6月にエウアグリーンと契約し、随時土佐市内の小・中学校にALT2名体制で派遣を開始。のべ30校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 6月にエウアグリーンと契約し、随時土佐市内の小・中学校にALT2名体制で派遣を開始。のべ30校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ38校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ21校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 訪問ALT活用状況に関するアンケートを配布し、後半より段階的な派遣計画を立てる	計画 のべ27校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ34校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ40校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ20校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ31校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 のべ16校に訪問し、外国語活動ALTとして訪問	計画 ALTについては当初の予定通り、各小中学校に入ってもらっている。2学期より1名のALTが補充により、変更となった。しかし、特に訪問に変更はなく、スムーズに各小中学校の外国語活動の時間に活用できている。	計画 ALTについては当初の予定通り、各小中学校に入ってもらっている。2学期より1名のALTが補充により、変更となった。しかし、特に訪問に変更はなく、スムーズに各小中学校の外国語活動の時間に活用できている。	計画 ALTについては当初の予定通り、各小中学校に入ってもらっている。2学期より1名のALTが補充により、変更となった。しかし、特に訪問に変更はなく、スムーズに各小中学校の外国語活動の時間に活用できている。	計画 ALTについては当初の予定通り、各小中学校に入ってもらっている。2学期より1名のALTが補充により、変更となった。しかし、特に訪問に変更はなく、スムーズに各小中学校の外国語活動の時間に活用できている。
事業名 学力向上推進事業 計画 各学校における学力向上のためには教員の資質の向上が欠かせない。学が意欲には内的要因と外的要因があるが、そうした児童・生徒の意欲を上手に喚起し、児童・生徒が積極的に学習するきっかけをつくる力が教師にはある。そうした教師を育てるためには、常に新しい知識や理論を貪欲に学ぶことが欠かせない。そこで、各学校における研究にあった各分野の著名な講師を呼び、先進的な実践を学ぶことで、教師の授業力・生徒指導力など教師としての全般的な資質向上を目指す。計画予定 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育をベースにした授業のあり方(岡山大学:佐藤教授) 読書教育推進のための果外講師(絵本作家:宮安陽子) 小中連携と授業理論を深める講師(宮城教育大学:相澤教授) 実施 校長会にて事業説明をし、各小中学校の研究を促進させるための講師を事業	計画 校長会にて事業説明をし、各小中学校の研究を促進させるための講師を事業	計画 各校からの講師希望を集計し、計画を立てる	計画 講師派遣等の実施活用計画を校長会にて再確認する	計画 小学校区内研修(小島 寿先生)	計画 校長会及び土佐市教育研究推進委員会にて活用状況の確認と反省	計画 高岡・戸中中学校区授業改善研究会(宮城教育大学教授:相澤 秀夫 先生)	計画 高岡小学校区内研修(絵本作家:宮安陽子)	計画 宇佐小学校区内研修(岡山大学教授:佐藤 誠 先生)	計画 予定していた講師謝金の額と違うところが出てきた。そのため新しく必要な研修を校長会等にて見直し、年末にコーチング研修を計画している。	計画 予定していた講師謝金の額と違うところが出てきた。そのため新しく必要な研修を校長会等にて見直し、年末にコーチング研修を計画している。	計画 予定していた講師謝金の額と違うところが出てきた。そのため新しく必要な研修を校長会等にて見直し、年末にコーチング研修を計画している。	計画 予定していた講師謝金の額と違うところが出てきた。そのため新しく必要な研修を校長会等にて見直し、年末にコーチング研修を計画している。	計画 予定していた講師謝金の額と違うところが出てきた。そのため新しく必要な研修を校長会等にて見直し、年末にコーチング研修を計画している。	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

須崎市教育委員会

総事業費(概算)	14,278,564円	補助対象額	14,278,564円	交付決定額	7,139,000千円	事業件数	3件
----------	-------------	-------	-------------	-------	-------------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業進捗状況(月別)												事業費執行済額	事業費執行済額					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
<p>事業名 須崎市地域ぐるみ学力向上対策推進事業</p> <p>(1)以下の内容について、須崎市内5中学校区において計画的に取り組む。 ①保・幼・小・中が連携した「学力向上地域ぐるみ推進委員会」の開催及び公開授業・共同研究等の実施 ②定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催) ③5中学校区の輪番制による研究発表会の開催(平成22年度は浦ノ内中学校区)</p> <p>(2)以下の内容について、校長・教頭会及び研究主任会において定期的に取り組む。 ①校長・教頭会合同会を開催し、県外講師を招聘した管理職研修を実施(年間3回開催) ②さつきティーチャーズセミナーを開催(年2回)し、研究主任のスキルアップを図る。</p>	計画 4月 第1回校長教頭会合同研修会	実施 4/1 総合福祉センターにて第1回校長教頭会合同研修会(教育行政方針説明会及び研修計画の研修等)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 6/1 校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて定期的な研修会の開催)	実施 7/20 第2回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて(18校)の教科研修)	実施 7/20 第2回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて(18校)の教科研修)	実施 7/20 第2回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて(18校)の教科研修)	実施 7/20 第2回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて(18校)の教科研修)	実施 7/20 第2回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて(18校)の教科研修)	実施 10/25 第3回研究主任会(10月中旬県外先進校視察(予定))	実施 11/26 第4回研究主任会(11/12 須崎小学校研究発表会)	実施 11/26 第4回研究主任会(11/17 浦ノ内中学校区研究発表会)	実施 1/6 第3回校長教頭会合同研修会(須崎市内各校にて)	実施 2/22 第5回研究主任会(2/1 第3回、2/1 第4回校長教頭会合同研修会)	実施 3月中旬 取り組みの検証	<p>・年間計画に基づき計画的に事業を実施することができた。反面、研修会等の増加にともなう事務負担の増加が課題となっている。</p> <p>・事業の成果と課題の検証の場の設定(須崎市の教育検討委員会を10月に実施し、事業の検証を行う予定)</p>	<p>○各中学校区の連携に係って「学力向上地域ぐるみ推進委員会」の開催・公開授業・共同研究等の実施により、教員の連携への意識の向上を図るとともに情報共有をすすめることで方向性を同一にした指導を行うことが可能になる。</p> <p>○定期的な研修会の開催に係って学校幹部及び学校改善プランの検証時のアンケートにおいて毎年比較値の向上を図る。</p> <p>○浦ノ内中学校区研究発表会の開催に係って他校区の参考となる研究の取り組みを広めるとともに、発表会時の参加者アンケートにより取り組み成果の検証を行う。</p> <p>○校長・教頭会合同会を開催に係って校長会及び教頭会において組織的な学校運営のあり方を再検討し、各学校の運営に活かすことができる。</p> <p>○さつきティーチャーズセミナーに係って参加者アンケートの実施により、研究主任のスキルアップについて項目平均値を6段階の3.6以上となるようにする。</p>	事業費執行済額	568,833円
<p>事業名 須崎市地域教材開発事業</p> <p>○須崎市の地域教材開発(副読本すさきを編集・印刷製本) ○副読本すさきにおける資料の電子化による電子黒板に対応できる教材の開発・活用</p>	計画 4月 編集委員会の発足、第1回編集委員会の開催	実施 4/13日 須崎市内各校にて第1回編集委員会の開催	実施 4月 印刷業者の選考	実施 4/1 印刷業者の決定	実施 7/5日 須崎市内各校にて第2回編集委員会の開催(編集作業の進捗及び印刷担当の決定)	実施 7/5日 須崎市内各校にて第2回編集委員会の開催(編集作業の進捗及び印刷担当の決定)	実施 7/5日 須崎市内各校にて第2回編集委員会の開催(編集作業の進捗及び印刷担当の決定)	実施 7/5日 須崎市内各校にて第2回編集委員会の開催(編集作業の進捗及び印刷担当の決定)	実施 7/5日 須崎市内各校にて第2回編集委員会の開催(編集作業の進捗及び印刷担当の決定)	実施 9月 印刷業者の選考	実施 9月 印刷業者の選考	実施 9月 印刷業者の選考	実施 12月中旬 印刷業者の最終決定	実施 2月 完成品配布	<p>・年間計画に基づき、編集作業を行うことができていたが、DVD作成のための検討会及び確認テストの内容検討が10月以降になる見込み。</p>	<p>○小学校教科資料の副読本を作成し、須崎市内各校の地域教材として活用することで、子どもたちが地域の学習をしながら、わが町の特色や歴史、文化等を知り、須崎市に誇りをもつとともに、地域に誇りをもつながら、地域に役立つようとする意識を育てることができている。(副読本活用についての教員及び児童向けアンケートを平成23年度に実施予定)</p> <p>○教材のDVD化を図ることで、子どもたちがICTを活用しながらより視覚的に捉えることができ、理解・定着の向上を図ることができる。</p>	事業費執行済額	0円	
<p>事業名 須崎市学校支援アクションサポート事業</p> <p>○学校に地域との窓口となる学校支援推進員をあらたに4名配置し、以下の内容について取り組む。 ①地域とともに変える学校支援 ・地域応援アクションサポート(地域ボランティアの学校支援活動のコーディネートなど) ・キャリア教育アクションサポート(職場体験学習事業わくわくチャレンジinすさきへの支援など) ②心によりそいながら自尊感情を高める児童支援 ・児童生徒学習サポート(児童生徒の補充学習支援など) ・児童生徒の心のサポート(不登校児童への対応など) ③学習環境のレベルアップのための学校支援 ・学校エコサポート(校内環境美化への支援など) ・心を育てる学習環境サポート(教室や廊下の校内環境の整備など)</p>	計画 4月中旬 各学校にて推進員の活動計画の検討、推進員への事前アンケートの実施	実施 4/1 推進員の選考及び決定 4/20 推進員への事前アンケートの実施	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	実施 4/1 須崎市内各校にて定期的な研修会の開催(各中学校区で年間2回開催)	<p>・新たな取り組みである地域体験研修を市内全教員対象に実施することができたが、研修成果については、個人差があった。</p> <p>・今後も推進員対象の研修会への参加や推進委員会の開催により、各々の教員の情報共有及びスキルアップを図っていく必要がある。</p>	<p>○学校支援推進員の配置により、地域が学校とかかわり支援する体制作りを確立するとともに、地域が学校を支援する場面をより多くすることができる。</p> <p>○不登校児童や特別に配慮が必要な児童生徒とのかかわりについて、学校支援推進員を対象にしたアンケートを実施し(年度初め及び年度末の2回)、2回目の数値が初回を上回るようにとめる。</p>	事業費執行済額	3,004,175円	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

宿毛市教育委員会

総事業費	4,292,000円	補助対象額	4,292,000円	交付決定額	2,146千円	事業件数	3件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	事業費執行済額	事業費執行済額	備考	
事業名 小学校放課後学習支援事業 (対象校:宿毛小学校、成陽小学校) 放課後の学習(補習、個別学習等)に向けた学級担任の支援を行う。 学習準備、学習サポート、プリントの点検等 勤務時間:2時間(14:45~16:45) (例)プリント点検・準備等(14:45~16:00)、学習サポート(16:00~16:45) (※年間派遣時間数:2時間×5日×33週×2名=660時間)	計画 ・宿毛小学校及び成陽小学校において学習支援員(各1名)による支援。 ・1日2時間×5日×1週×2校	・1日2時間×5日×4週×2校	・1日2時間×5日×3週×2校		・1日2時間×6日×4週×2校	・1日2時間×6日×4週×2校	・1日2時間×6日×4週×2校	・1日2時間×5日×3週×2校	・1日2時間×6日×3週×2校	・1日2時間×5日×4週×2校	・1日2時間×6日×3週×2校	・1日2時間×6日×3週×2校	・1日2時間×6日×3週×2校	年度当初の取組が少し遅れたが、予定した時間数の取組ができていた。 理解が遅れ気味に子どもたちのサポートにより効果が出てきているように思われる。	320,000円	320,000円	A・B・O(※2) A・B・C(※1)	子どもたちの家庭学習習慣が定着し、基礎学力が向上する。 ・年度末に家庭学習の調査を行い学習時間を上昇させる。 ・年度当初と年度末に、「(仮称)定着度確認テスト」を実施し、正解率を20%アップさせる。
事業名 夏季休業中における学力向上支援事業 対象:全小・中学校(9小学校、6中学校) 配置:各学校2名 期間:10日程(夏季休業中の始め(5日程)と終わり(5日程)を基本とする。 時間:3時間(8:30~11:30) 内容:学習サポート ※1学期に、宿毛市学力向上支援員として登録する。基本は宿毛市出身の大学生とするが、高校生や地域の方の場合もある。	計画 ・市内小中学校16校において、夏季休業中の補習のサポート ・各学校2名の支援員 ・3時間×5日(7/21~23/7/26~27)	・市内小中学校16校において、夏季休業中の補習のサポート ・各学校2名の支援員 ・3時間×5日(8/23~27)												支援員の確保が困難を要したが、基本は大学生としたが一部には高校生、一般の方にも協力をしていただいた。しかし、すべての学校への配置はできず一部の学校だけとなった。協力していた方や学校にアンケートを実施し、事業について検証する。	822,000円	822,000円	A・B・C A・B・O	児童生徒の基礎学力が定着する。 ・小テスト(確認テスト)を行い、理解度(定着度)を確認する。
事業名 小学校外国語活動総合支援事業 ①小学校外国語活動推進事業 ○小学校における外国語活動の水準を向上させる研究及び実践を行う。 対象:大馬小学校 公開授業(研究発表会等)3回(各学期1回) 参加対象:全小・中学校外国語担当者(小9、中6) 先遣地視察・県外(四国中央市)、県内(土佐市)地域外講師の派遣(2時間×30回×1名=600時間)	①地域外講師派遣:3回 公開授業:3回 ②支援員の配置 ・10クラス×2名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 公開授業:3回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 公開授業:3回 ②支援員の配置 ・10クラス×3名×2名(60時間)		①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×3名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×3名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×4名×2名(60時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×2名×2名(40時間)	①地域外講師派遣:3回 先遣地視察:1回 研究発表:2回 ②支援員の配置 ・10クラス×2名×2名(40時間)	予定どおり、小学校における外国語活動のサポートができていると考えている。	2,150,000円	2,150,000円	A・B・C A・B・C	・市の連絡協議会を毎学期(計3回)行うことで、研究成果の普及・啓発を図られる。 ・3学期に児童アンケートを実施し、満足度80%をめざす。 ・各学校における23年度外国語活動年間指導計画(案)を作り上げる。
②小学校外国語活動支援事業 ○教員のための外国語活動指導サポート体制をとる。 対象:9小学校 5・6年生(20クラス) 回数:1クラス 週1時間(年間35回) (トータル時間数:35時間×20クラス=700時間)	①地域外講師派遣:3回 公開授業(5/20) ②支援員の配置:18時間(6校)	①地域外講師派遣:5回 ②支援員の配置:79時間(9校)	①地域外講師派遣:1回 ②支援員の配置:39時間(9校)												523,100円	523,100円		

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域了くヨソラジ」卒業進捗管理表

土佐清水市教育委員会

地教委名

4件

3 各事案別の今後の具体的な取組

総事業費	3,612,800円	補助対象額	3,612,800円	交付決定額	3,612,800円	事業費	1,806千円
------	------------	-------	------------	-------	------------	-----	---------

事業名	事業費	補助対象額	交付決定額	事業費	事業内容	事業名	事業費	補助対象額	交付決定額	事業内容
事業名 土佐清水市小中学校「く」環境事業	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	<p>①小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>②小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>③小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>④小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>⑤小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p>	事業名 土佐清水市小中学校「く」環境事業	1,050,000	1,050,000	1,050,000	<p>①小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>②小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>③小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>④小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p> <p>⑤小中学校の環境にきき、非常時避難等の取組を行う。</p>
事業名 土佐清水市の男女自然環境や歴史・産業等を知り、児童の郷土に対する興味関心を高め、夢と希望に満ちた、郷土を愛する子どもを育てるための地域教材を作成する。	1,986,000円	1,986,000円	1,986,000円	1,986,000円	<p>・土佐清水市の男女自然環境や歴史・産業等を知り、児童の郷土に対する興味関心を高め、夢と希望に満ちた、郷土を愛する子どもを育てるための地域教材を作成する。</p> <p>・教材作成には、教職員や一般の有識者からなる作業員を立ち上げ、児童生徒や地域の代表も入れ、できるだけ多くの意見を取り入れる。</p> <p>・平成23年度に小学校3、4年生に配布する。以後4年間は3年生になった時点で配布し、個人が書き込みなどできる内容のものとする。それ以降についてはその人に配布したものは社会科や総合的な学習の時間等で活用する。</p>	事業名 土佐清水市小中学校環境事業	1,986,000円	1,986,000円	1,986,000円	<p>・土佐清水市の男女自然環境や歴史・産業等を知り、児童の郷土に対する興味関心を高め、夢と希望に満ちた、郷土を愛する子どもを育てるための地域教材を作成する。</p> <p>・教材作成には、教職員や一般の有識者からなる作業員を立ち上げ、児童生徒や地域の代表も入れ、できるだけ多くの意見を取り入れる。</p> <p>・平成23年度に小学校3、4年生に配布する。以後4年間は3年生になった時点で配布し、個人が書き込みなどできる内容のものとする。それ以降についてはその人に配布したものは社会科や総合的な学習の時間等で活用する。</p>
事業名 土佐清水市小中学校環境事業	276,800円	276,800円	276,800円	276,800円	<p>①科学実験体験教室 ・市内小中学校に在籍している児童生徒、教員を対象にした科学実験教室及び戸別の実験 ②手作り絵本教室 ・科学的な関心を高める「手作り体験する。世界でたった一つの自分の絵本」を作り、紹介する。 ③手作り環境体験教室 ・手作り環境体験教室 ④手作り環境体験教室 ・手作り環境体験教室</p>	事業名 土佐清水市小中学校環境事業	276,800円	276,800円	276,800円	<p>①科学実験体験教室 ・市内小中学校に在籍している児童生徒、教員を対象にした科学実験教室及び戸別の実験 ②手作り絵本教室 ・科学的な関心を高める「手作り体験する。世界でたった一つの自分の絵本」を作り、紹介する。 ③手作り環境体験教室 ・手作り環境体験教室 ④手作り環境体験教室 ・手作り環境体験教室</p>

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

土佐清水市教育委員会

総事業費	3,612,800円	補助対象額	3,612,800円	交付決定額	1,806千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業進捗状況												事業費執行済額	事業費執行済額	達成状況	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<p>事業名 小学校外国語活動推進事業</p> <p>中浜小学校を研究指定し、小学校外国語活動の研究を推進する。</p> <p>①「英語ノート」と電子黒板の活用についての研修会実施(夏季休業中)</p> <p>②校内研修の充実(講師を招いての研修や研修視察の実施)</p> <p>③小学校外国語活動連絡協議会の実施(学期に1回 年間3回)</p> <p>④研究発表会、授業公開の実施(平成22年10月22日)</p> <p>⑤ALTや中学校教員との連携</p>	<p>計画</p> <p>4月早々の校外外国語活動推進に向けての支援(ALT月2回の派遣、ICTの活用を中心とした外国語活動推進の取組、校内研修への参加)。</p>	<p>中浜小学校外国語活動推進への支援(ALT月2回の派遣、ICTの活用を中心とした外国語活動推進の取組、校内研修への参加)。</p>	<p>校外教育事業所の支援(ALT月2回の派遣、ICTの活用を中心とした外国語活動推進の取組、校内研修への参加)。</p>	<p>校内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>市内研修への西部教育事務所指導主事の派遣(ALTの派遣1回)。</p>	<p>300,000</p>	<p>300,000</p>	<p>A・B・C</p>	<p>①平成23年度より、土佐清水市内の全小学校の56年生で、年間35時間の小学校外国語活動の時間を確保し、年間計画が作成できる。</p> <p>②外国語活動の研修を深め、授業を工夫することで、授業評価で「外国語の授業が楽しい」とする児童の割合を向上させる。(学期末毎に年3回、アンケートを実施し比較する)</p> <p>③56年生の外国語担当教員全員が、電子黒板を使って英語ノートの授業ができるようにする。(H21電子黒板で授業できる教員約20% →H22目標100%)</p>
<p>事業費</p>													85,830			

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

四万十市教育委員会

総事業費	4,811,800円	補助対象額	4,881,800円	交付決定額	2,440,000千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	-------------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業費	補助対象額	スケジュール												事業費執行済額	補助対象額執行済額		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
事業名 学力向上戦略プラン推進事業 ○学力向上戦略プラン向上研修 目的:県内外の先進的な取組を学ぶ機会を提供し、学力向上に資する取組を構築する。 (全て学力向上に視点を置いた研修とし、管理職及びミドルリーダーの資質・指導力向上を図る。) (1)校長研修…学校運営に関する研修 (2)教頭研修…学力向上に向けた学校改善に関する研修 (3)ミドルリーダー研修…学力向上に向けた具体的な取組に関する研修 ※講師・内容によっては、それぞれの立場の者が一緒に研修を行うことも考慮する。	305,000円	305,000円	計画 ・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介 ・学力向上調査の取組と学力向上に向けた手だての提示	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	・校長会・教頭会 ・地域アクションプランの紹介	①管理職の学校改善に係わる視野を広め、特色ある学校づくりが推進できる。 一学校評価による学校への満足度の向上→結果としての学力調査の数値の向上、不登校の減少を目指す。 ②人材育成の観点で、先進的な取組を学ぶ機会を提供することにより、学校の課題改善を推進できる管理職やミドルリーダーを育成できる。 ③四万十市全体として学力の課題を共有し、その向上に努めようとする意図を高めることができる。
校長会・教頭会と連携しながら、研修会の内容・日程を調整中。詳細な実施計画は今後の検討課題。 予定:校長研修→全国学力学習状況調査の結果をうけて、講師を招聘した研修を1月までに実施。 教頭研修→講師として香川県直島町立直島小学校の植田和也教頭の招聘は調整済み。 ミドルリーダー研修→講師を招聘した研修を2学期中に実施。 (学力調査の分析を踏まえて、内容を検討する予定。詳細はこれから)			10月1日 午後 教頭研修実施予定 講師:香川県直島小学校植田和也教頭 ミドルリーダー研修実施予定 講師:香川県直島小学校植田和也教頭 市教委主催の校長会にて研修を招聘し実施												0円	0円		
事業名 スクールアドバイザー配属事業 不登校・不登校傾向の要因は様々であるが、子どもが何らかの「悩み」を持ち、自信を失っている事は想像に難くない。その悩みに耳を傾け同苦すると共に、「悩み解決」のために共に挑戦していくこととするサポーターを派遣する。 例えば、ひきこもり傾向にある児童・生徒の家庭等を訪問し、人間関係に悩んでいる子どもにはその解決のためのプログラムを用意し、一緒にチャレンジし、また学習面に悩みを持っている子どもには、学習の手助け(家庭教師的)をし、学力向上に向けた挑戦(サポート)をする。	2,340,800円	2,340,800円	・SAの雇用(名) ・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	・3月3日以上欠席状況の調査・学校訪問・不登校対策支援委員会出席 ・家庭訪問(学習サポート、悩み相談等)	①不登校で、特にひきこもり傾向にある児童・生徒の家庭等を訪問することにより、きめ細かなサポート体制をとり、精神的なケアと個に応じた学習支援を展開できる。 ②学校・適応指導教室と連携した不登校対策が推進でき、市の不登校発生率を減少させることができる。 ③子どもとアドバイザーの関係が築けるようになると、保護者の精神面も安定することが予想され、子どもを育む環境づくりが推進できる。
学校との意思疎通を図ることで、不登校児童生徒への対応の幅を広げようと、この3ヶ月程度取り組んできた。現在、適応指導教室に通所してくる児童生徒の個別指導(学習支援)に対応するとともに、自宅に引きこもりがちな生徒1名に対して家庭訪問を行っている。 成果としては、適応指導教室の対応が学習支援を中心としたものになりつつあり、きめ細かな個別支援ができるようになったことである。また、生徒1名に対しては家庭訪問が可能となるなど、当初の配置の目的が徐々にではしたが達成されている。			学校との意思疎通を図ることで、不登校児童生徒への対応の幅を広げようと、この3ヶ月程度取り組んできた。現在、適応指導教室に通所してくる児童生徒の個別指導(学習支援)に対応するとともに、自宅に引きこもりがちな生徒1名に対して家庭訪問を行っている。 成果としては、適応指導教室の対応が学習支援を中心としたものになりつつあり、きめ細かな個別支援ができるようになったことである。また、生徒1名に対しては家庭訪問が可能となるなど、当初の配置の目的が徐々にではしたが達成されている。												723,100円	723,100円		
事業名 小学校外国語活動応援事業 小学校外国語活動の指定校である東山小学校の研究推進を支援し、管内の小中学校に実践事例を提供し小学校外国語活動の円滑な実施を図る。 また、小学校5・6年生を対象とした外国語活動に対して、担任が中心となった授業実践をサポートできるように英語教育に精通した人材をサポートとして小学校に派遣し、担任とともに教材づくりやIT授業に取組む。具体的には、1日1校での勤務を3時間とし、拠点校を中心に近隣の小学校を複数校担当し、外国語活動の時間のサポートを重点的に行う。 東山小学校が「小学校外国語活動」の指定校であり、市として年間3回の連絡会を持つこととしているので、連絡会への参加も義務づけ、各校へ授業実践の情報提供を行う。 これらの事業を通じて、5・6年の担任の外国語活動の授業を応援し、授業実践を積み上げることで年間35時間の外国語活動の授業を充実させ、教育課程の円滑な実施を支援する。	1,876,000円	1,876,000円	計画:外国語活動サポーター ・人選 ・受け入れ校の調整	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	計画:東山小学校の外国語活動の指定校 ・校内研修	①外国語活動に対する授業実践をサポートすることで、担任の外国語活動への不安感を解消するとともに、コミュニケーション能力の育成に資する授業づくりが進展する。 ②指定校である東山小学校の研究を広く管内に普及し、外国語活動の推進を図ることができる。 ③外国語活動が楽しいと思える児童を育成できる。一児童への意識調査を実施し、効果を確認する。
一東山小については、昨年度の研究実績にもとづき、今年度の計画に沿って実践研究が行われている。6月30日、高知大学の村越教授を招聘して公開の校内研修を実施。			サポーターと1学期の反応(2学期に向けた協議)ALTとの打ち合わせ ①校にサポーターを派遣し授業実践のサポート ②校にサポーターを派遣し授業実践のサポート												523,657円	523,657円		

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

四万十市教育委員会

総事業費	360,000円	補助対象額	360,000円	交付決定額	180千円	事業件数	1件
------	----------	-------	----------	-------	-------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	実施期間												中間検証	最終検証
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
事業名 四万十市RUN教室 四万十市中村地域でも住宅化が進み、児童数が上昇している「東山小学校」をモデル校として位置づけ、低学年(1年生～3年生)を中心に運動が苦手な子どもと保護者を募集し、毎週日曜日の週1回、体育指導委員が講師となり、いろいろな遊び的な運動やスポーツを体験してもらい、運動することの楽しさを感じてもらい体力向上に努め、更に運動を習慣づけるようにする。 遊び的な運動としては、スポーツ吹矢やスポーツチャンバラ、シュノーケル教室、また21年度に実施した走り方の練習などを、保護者と一緒になって遊んでもらうことにより、目標として運動会に向けて楽しく参加できるように指導していく。 ※同じことを続けると飽きてしまうのでできるだけ楽しめるメニューを数多く取り入れ、体を動かすことの楽しさを感じてもらうようにする。	計画	6/2,9,16,23,30 (5回) 東山小学校 1～3年生 スポーツ吹矢 体験 4人 100,000円	6/6,13,20,27 (4回) 東山小学校 1～3年生 スポーツチャンバラ 体験 4人 80,000円	7/4,11,18,25 (4回) 東山小学校 1～3年生 走り方・シュノーケル教室 体験 4人 80,000円	8/1,8,15,22,29 (6回) 東山小学校 1～3年生 ゲーム・走り方体験 4人 100,000円	9/7 体育定例会報告	10/7 体育定例会報告	11/7 体育定例会報告	12/7 体育定例会報告	1/7 体育定例会報告	2/7 体育定例会報告	3/7 体育定例会報告	8月実施したAは、20.1秒から20.14秒に、8人平均では、91.8秒から92.71秒にアップした。人数が多くなったが、7月からもランニング系のスポーツをやった児童が現れている。	東山小学校の1年生から3年生までの対象児童数は148人であるが、その中の運動が苦手な子供により多く参加してもらい、一人でも多くの児童に体を動かすことの楽しさを感じてもらい、体力アップにつながるようにしていく。 事業実施にあたり、まず最初に基礎的な体力度調査を行い、4か月後の事業終了後の体力度調査の数値により具体的な成果を計る。	
	実績	5/2,9,16,23,30 (5回) 東山小学校 1～3年生 スポーツ吹矢 ドラゴン走り方体験 35人 体験 3～4人 85,000円	6/6,13,20,27 (4回) 東山小学校 1～3年生 スポーツチャンバラ 体験 4人 80,000円	7/4,11,18,25 (4回) 東山小学校 1～3年生 走り方・シュノーケル教室 体験 2～4人 85,000円	8/1,8,15,22,29 (6回) 東山小学校 1～3年生 ゲーム・走り方体験 1～4人 85,000円	9/7 体育定例会報告								270,000 事業費執行済額	事業費執行済額 円
事業費	360,000	補助対象額	360,000											270,000	円
事業名	計画													A・B・C	A・B・C
事業費														円	円
事業名	計画													A・B・C	A・B・C
事業費														円	円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

香美市教育委員会

総事業費 3,580,200円 補助対象額 3,580,200円 交付決定額 1,780,000千円 事業件数 2件

3 各事業別の今後の具体的な取組

Table with columns for project name, fiscal year, and monthly progress from 2020 to 2022. The main content is a detailed report for 'Children's Independence Support for Schools, Communities, and Families'.

事業名 子どもの自立に向けた学校・地域・家庭との行動連携事業

計画 長期欠席調査、情報交換会、学習支援活動、相談会... (配属された支援員による取り組み) 1. 長期欠席調査を毎月実施し、子どもたちの状況を把握する...

(配属された支援員による取り組み) 1. 長期欠席調査を毎月実施し、子どもたちの状況を把握する。 (ア)調査分析から学校と支援員の役割を分担して行動する。また、行動後は直ちに情報交換会を開き、子どもと保護者の状況を共有し次のアクションに生かす。 (イ)引きこもった子どもたちや母親が一人で課題を抱えている家庭へ優先的に訪問を継続し、不安を取り除き本来の居場所を目指す。 2. ふれんどるーむ(教育支援センター)における支援員の任務 (ア)教育相談活動 不登校・いじめ・学習・子育て等に關すること。 (イ)来所する子どもたちにカウンセリングと学習支援活動を実施する。 (ウ)来所した子どもたちの行動変化等を在籍校と保護者にも報告する。 (エ)学校との関わりを切らさないように、子どもの内面が安定している機会を伝える。 3. 関係機関との行動連携 (ア)教育の機能を越える課題については、他機関の特性を活用する。 (イ)困難な課題には、サポートチーム編成を要請する。 (ウ)コーディネート力を高め、行動連携に努める。 4. 地域の教育力の掘り起こし。 (ア)各地域のミニ集会所に積極的に出向き子どもたちへ声かけの依頼をする。 (イ)地域の方々から不登校児童生徒や家庭への支援と見守りに関して、他地域の取り組み事例を紹介し啓発に努める。 (ウ)地域の歴史を知り、体験豊かな高齢者の力を借りる。 5. 啓発活動 ふれんどるーむ便りを媒体にして、不登校等の理解が深められるように啓発する。

事業費 3,280,200円 補助対象額 3,280,200円

Monthly progress table with columns for months from 2020 to 2022, detailing activities like 'Long-term Absence Survey' and 'Information Exchange Meetings'.

全体として、予定どおり進んでいる。ふれんどるーむへの来所者への学習支援及びカウンセリング、電話相談、各学校への訪問支援、家庭への訪問指導等実施し、成果も出ているが、支援を要する子は多く、学校からも支援員の増員を要請する声が出ている。現在10日以上の中学生の出席率は、5.62%となっている。

○昨年の長期欠席(30日以上)児童生徒出現率は、中学校で6.3%と大幅に増加した。その要因は様々であるが、目に付くのは家庭内不和、養育放棄、発達障害に關わる親の理解不足等が1/3程度あった。長期欠席防止のために、子どもたちの生活環境を改善させたい。その手段として支援員による家庭訪問活動は必要であり有効である。目標は6.3%(H21)→H4%台に。 ○困難な課題には、支援員がSSWと連携し、学校の特性や他機関の特性を活用しつつ、家庭を支援したり地域の力を借りることができる。この行動により、母親が一人で課題を抱え込んだり、地域で家庭が孤立することを減少させる。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

教育委員会

Summary table with columns: 総事業費 (Total Budget), 補助対象額 (Subsidy Amount), 交付決定額 (Disbursement Amount), 千円 (Thousand Yen), 事業件数 (Number of Projects), 件 (Items)

3 各事業別の今後の具体的な取組

Header table for the main activity progress table, including columns for activity name, fiscal year, and implementation period.

Main activity progress table with columns: 事業名 (Activity Name), 計画 (Plan), 実績 (Achievements), 今後の取組 (Future Activities), 事業費 (Budget), 補助対象額 (Subsidy Amount). The primary activity is '小学校外国語活動推進事業'.

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

東洋町教育委員会

総事業費	3,349,470円	補助対象額	3,349,470円	交付決定額	1,674千円	事業件数	3件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業費	補助対象額	事業内容	実施期間	実施場所	実施主体	実施内容	事業費執行済額	補助対象額執行済額
事業名 豊かな心を育む教育の推進 子供が、将来「どのような職業に就き、どのような夢を描けるか」が大切です。子供なりに、人生の目標を定め「夢」や「希望」を実現させるためには、社会の仕組み、仕事の成り立ちと関わり、仕事の種類や内容を知る必要があります。また、将来、子どもたちが就きたい職業には、何が必要で、どのような勉強をしなければならないかを考える必要があります。しかし、東洋町の産業は、一次産業と個人商店、漁業（レジャー等）を目的とした小規模な観光事業等であり、子どもたちの視野を広げる教育が必要で、 (1) キングニアにおける体験活動…様々な職業を模擬体験しながら、経済活動も体験できる施設があり、この施設で「人間関係を築く力」、「働くことや仕事を理解する力」、「将来を設計する力」、「意志を決定する力」を勉強させて身につけさせます。 また、「生きる力」には、災害から命を守るための知識や体験も必要であり、近い将来、震災に発生する南海・東南海地震に対する防災対策として次の体験を行います。 (2) 人と防災未来センターにおける体験活動…防災教育を体験(体験)させる。 体験学習には小中で統一されたアンケートが作成を行い、子供達がどのような職業に就きたいか、防災の意識はどうか、何故そのように思うのか等を把握し、体験学習後にもアンケートが作成を行うことにより、子どもたちの職業観や防災意識がどのように変化したかを把握し、今後の学習に役立てる。また、体験学習について委員会なども計画しています。	1,113,470円		○校長会で事業計画の周知を行う。 ○10月5日～11月10日 東洋・野田中学校合同の体験学習 17日～18日 野田小学校体験学習 24日～25日 甲浦小学校体験学習			○東洋中学校 ○東洋小学校 ○甲浦小学校	○本町の事業のまとめ ○児童生徒の体験学習実施会の実施	1,113,740円	1,113,740円
事業名 豊かな心を育む教育の推進 子供が、将来「どのような職業に就き、どのような夢を描けるか」が大切です。子供なりに、人生の目標を定め「夢」や「希望」を実現させるためには、社会の仕組み、仕事の成り立ちと関わり、仕事の種類や内容を知る必要があります。 (1) 漁業体験(地引網) 東洋町の主要産業である漁業について、実際の漁獲作業を体験させ、保護者である父兄や地域の人のための仕事の理解や漁業という仕事の大切さを理解させます。 (2) 食育学習(地場産品の再認識) 婦人会や食生活改善グループに委託し、捕れた魚と地域の食材を使って料理していただきます。 地産の魚や農作物を試食することで、地場産品と地域の食材の大切さを勉強させます。	1,238,000円		○校長会で事業計画の周知を行った。 ○10月10日～11月10日 東洋・野田中学校合同の体験学習 17日～18日 野田小学校体験学習 24日～25日 甲浦小学校体験学習			○東洋中学校 ○東洋小学校 ○甲浦小学校	○本町の事業のまとめ ○東洋中学校 ○東洋小学校 ○甲浦小学校	0円	0円
事業名 豊かな心を育む教育の推進 子供が、将来「どのような職業に就き、どのような夢を描けるか」が大切です。子供なりに、人生の目標を定め「夢」や「希望」を実現させるためには、社会の仕組み、仕事の成り立ちと関わり、仕事の種類や内容を知る必要があります。 日本の政治や経済状況等が、自分達の地域や生活にどのように関わっているのか、子どもたちが様々な物事に興味を持ち、意識改革をすることによって、論理的で幅広い考え方をする大人に育てる必要があります。このため、中学生とその保護者を対象としたキャリア教育を行います。 1. 講演(日本の政治・経済と地域の関わり) ①小笠原町でも、国の政策や世界の経済に繋がっているという「意識改革」づくり ②新聞やテレビのニュースについて「見方や考え方を会得するキッカケ」づくり 2. 講演(地域おこしの成功例) ①地域の特性や素晴らしさを見出し再認識させるための「意識改革」づくり ②意識改革によって、地場産品の活用を考える「キッカケ」づくり ③物の見方や創造力を育てる「キッカケ」づくり 3. 上記講演は、保護者と生徒を対象として実施するので、講演内容について学校で生徒同士の討論や取組で親子が話し合う「キッカケ」をつくる 4. 上記の1～3の「キッカケ」により ①モノの見方や考え方を多面的にとらえる能力を養成する。 ②モノを多面的にとらえることで、政治経済や社会状況の変化をいち早く察知し、その変化に対応できる能力や創造力を養成する。	1,000,000円		○校長会で事業計画の周知を行った。 ○10月10日～11月10日 東洋・野田中学校合同の体験学習 17日～18日 野田小学校体験学習 24日～25日 甲浦小学校体験学習			○東洋中学校 ○東洋小学校 ○甲浦小学校	○本町の事業のまとめ ○東洋中学校 ○東洋小学校 ○甲浦小学校	0円	0円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

奈半利町教育委員会

総事業費	650,800円	補助対象額	650,800円	交付決定額	325千円	事業件数	1件
------	----------	-------	----------	-------	-------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	進捗状況												事業実施による成果			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
①校内研修事業 奈半利町内の小中学校において、授業研究を中心とした校内研修会を行い、授業改善を通して学力向上を図る。 1. 奈半利中学校校内研修用に大学教授を招聘する。又、研究主任を静岡県の先進校の視察に行かせ、ビデオ等を基に校内研修会を行う。 2. 奈半利小学校では、校内研修用に鳥取大学から教授を招聘する。又、高知大学付属小学校へ教師6名づつ2回研修に訪問する。 3. 加須野小学校では、校内研修用に県内の講師を4回招聘する。 ②家庭学習推進事業 1. 奈半利中学校では数学の問題集を宿題として、全生徒に出せるように揃える。英和・和英辞典・歴史基本用語集・公民基本用語集を教室に置いて、家庭での調べ学習用に貸し出す。 2. 奈半利小学校では全学年の問題集を宿題として出せるように揃える。 3. 加須野小学校では全学年の問題集を宿題として出せるように揃える。	【奈半利中】 ○研修主任を中心に、平成22年度研究推進全体計画を作成する。 ○研修主任を中心に、平成22年度研究推進全体計画を作成する。 ○研修主任を中心に、平成22年度研究推進全体計画を作成する。 ○研修主任を中心に、平成22年度研究推進全体計画を作成する。			全校授業視察、8月27日に鳥取大学(鳥取大学)を訪問し、ビデオ等を基に研修会を行う。			研究主任を中心に先進校視察の研修会を開催する。 ○研修主任を中心に、平成22年度研究推進全体計画を作成する。		鳥取大学(鳥取大学)を訪問し、ビデオ等を基に研修会を行う。	県外の先進校を視察し、全校教員で研修内容を基に校内研修会を行う。 ○研修主任を中心に、本事業の検証を行い、学校改善プラン(修正シート)へ反映させる。また、次年度の計画を決定する。			本事業の検証結果を年度末の学校改善プランへ反映させる。	(奈半利中学校) 先進校視察について、情報を収集中である。今後は学力向上推進チーム等と連携して取り組む。 (奈半利小学校) 11月11日実施の教育講演会で、学力の基盤である生活リズムの確立について児童・保護者・教員が多種多様なもと、取り組みの強化を図りたい。 (加須野小学校) 主に読書や繰り返し学習に活用している。宿々の理解度が把握でき、切別の対応に活用できている。			
		購入教材による家庭学習・授業等での活用															
事業費	650,800円	補助対象額	650,800円	購入教材による家庭学習・授業等での活用										事業費執行額	316,671円	事業費執行額	円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

田野町教育委員会

Summary table with columns: 総事業費 (5,140,000円), 補助対象額 (5,140,000円), 交付決定額 (2,570千円), 事業件数 (5件)

3 各事業別の今後の具体的な取組

Main activity progress management table with columns for activity name, dates, and descriptions of implementation. Includes sub-sections like '1. 言語力育成の研究...' and '2. 読書活動推進事業...'.

様式1

<p>事業名 食料のたんぱくたんを知る食育・体験事業</p> <p>1. 学校の実習園を利用し、野菜の植付けから、栽培・収穫・調理までの体験活動</p> <p>2. 収穫体験</p> <p>3. 子ども達の食事の実態調査</p> <p>4. 親子クッキング教室の開催</p> <p>5. 食育活動</p> <p>事業費 720,000円 補助対象額 720,000円</p>	<p>1. サツマイモの栽培 2. サツマイモの収穫 3. サツマイモの調理</p>	<p>1. サツマイモの栽培 2. サツマイモの収穫 3. サツマイモの調理</p>	<p>1. サツマイモの栽培 2. サツマイモの収穫 3. サツマイモの調理</p>	<p>1. サツマイモの栽培 2. サツマイモの収穫 3. サツマイモの調理</p>	<p>1. サツマイモの栽培 2. サツマイモの収穫 3. サツマイモの調理</p>	<p>2学期は植付け作業・収穫体験などがあるため、より子どもたちに野菜栽培の楽しさを伝えることができ、食育や食料に対する感謝の気持ちが育つ。 また、食育の重要性を認識してもらうような事業展開を行うことで、きちんと食事を取ることを習慣づけさせ、朝食をとらない子どもがゼロになることを目指す。食育活動は、子どもだけでなく、保護者にも実施することから、親の食事に対する意識改善がはかられ、家庭の食生活環境が向上すると期待できる。</p> <p align="center">A・B・C</p> <p align="right">事業費執行計画 413,778円</p>
<p>事業名 パレントトレーニング</p> <p>1. パレントトレーニング ① 時期：平成22年7月から12月 ② 回数：10回(月2回) ③ 対象者：田野町に在住する発達課題のある子どもへの接し方が分からないなどの子育てに何らかの不安をもつ母親(8名) ④ セクションの内容 子どもの行動実態を図るための子どもの行動の見方や表め方などを細かく学ぶ ⑤ 場所：田野町保健センター ⑥ 講師：NPO法人HomoLudens PLOWLAND 中市真帆(プレアドバイザー) 山下かのう(ケアマネージャー) 藤野雄太(スポーツインストラクター)</p> <p>2. 職員の研修 パレントトレーニング事業後のカンファレンス</p> <p>事業費 470,000円 補助対象額 470,000円</p>						<p>計画にあるような予定で実施が決定した。参加者は3名で実施できる状況にある。 各回での研修会時にアンケートをとるなど、参加者の実態を見ていきたい。 ①親の子どもに対する育児態度の変化・子どもの見方の変化 子どもの反社会的・反抗的な態度を容認できるようになる。 感情的な対応を避けることができる。 母親自身の自尊感情が高まる。 自分だけが苦しんでいるのではないと認識してきていることにつながる。 子育て仲間ができる。 パレントトレーニング参加者10名を目指し、参加者の実態等を把握した上で実施することによって、結果を図る。</p> <p align="center">A・B・C・D・E・F</p> <p align="right">事業費執行計画 円</p>
<p>事業名 田野中学校実習園雑草草</p> <p>田野中学校の実習園である後山茶園は約50年の歴史があり、校庭でもある「勤労」の精神を養うべく(体験型キャリア教育として)今年もお受け継がれており、収穫した茶葉は「田野中茶」として販売し地域に貢献している。また、その収益はPTA活動費や卒業記念品等に充当し生徒に還元している。 近年においては生徒数の減少や授業料の確保等の理由により定期的な除草作業等が実施できず雑草の増えや虫害も増加している。また、活動時には地域住民のボランティアを募集している現状である。 年間を通じて学校単独での維持管理が困難なことから、第3者の支援として定期的な除草作業や施肥等を委託し環境整備を図ることにより学校の負担を減らし、また、生徒たちが安全で充実した実習地活動を実施する中で勤労に対する理解や意欲を深めながら体験型キャリア・全健教育を行う。 【実施内容】 ①環境整備 ... ①除草作業及び雑草の再植(4月~3月) ②施肥作業(12月) ②出荷準備 ... ②収穫後の不純物除去作業及び梱包作業(5月~7月)</p> <p>事業費 735,000円 補助対象額 735,000円</p>	<p align="center">除草・刈り込み作業(適時)</p> <p align="center">販売準備(不純物除去・梱包)</p> <p align="center">施肥</p> <p align="center">除草・刈り込み作業</p> <p align="center">販売準備(不純物除去・梱包)</p> <p align="center">A・B・C・D・E・F</p> <p align="right">事業費執行計画 29,2500円</p>					

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

安田町教育委員会

総事業費	1,097,500 円	補助対象額	1,097,500 円	交付決定額	548,000 千円	事業件数	3 件
------	-------------	-------	-------------	-------	------------	------	-----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業区分	事業名	概要	事業進捗状況												事業費執行済額	事業費執行済額	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	<p>事業名 はばたけ、未来を切り開く人材育成事業</p> <p>○国土の偉人や自然、文化遺産等を学ぶ機会を作り、郷土愛を育むことにより自尊感情を育て、心身共に健康で夢と希望にあふれた人づくりを推進する。</p> <p>○講師を招聘し、ふるさと学習を実施する。教材を基にした授業のみならず、フィールドワークも積極的に取り入れることで、歴史等をより身近に感じられるようにする。</p> <p>・小1(生活科)・・・年間1回、読み聞かせ 安田町に古くから伝わる昔話を聞き、町の伝統・文化に関心を持たせる。</p> <p>・小3(社会科)・・・年間1回、小川獅子舞についての学習 安田町の伝統行事「小川獅子舞」について学習し、それらを保存・継承していくための工夫や努力について考える。</p> <p>・小5(社会科)・・・年間2回、地域学習 地域の人々の中に残る伝統的な技術や郷土料理の学習を通して、優れた技術が今も生かされていることに気づく。</p> <p>・小6(社会科)・・・年間2回、郷土の偉人について学習 安田町が輩出した先人達の偉業について、理解や関心を深め、安田町の歴史について学ぶ。</p> <p>・中1(総合的学習の時間)・・・年2回、郷土の偉人について学習 安田町が輩出した先人達及び土佐で活躍した志士たちについての理解を深め、郷土の歴史を学ぶ。</p>																	<p>本事業実施により、目的とする郷土愛や率先行動意欲の醸成が期待され、元氣、勇気、自信を身につけて、社会をたくましく生きぬける力が育成される。</p>
	235,000	補助対象額	235,000															
2	<p>事業名 教職員スキルアップ推進事業</p> <p>○児童生徒のつまずきの確認と対策について、幼小中連携した組織的な取り組みをする。</p> <p>○キャリア教育の観点で、「目指す児童生徒像」を明らかにして、幼小中一貫した全体計画を作成し、児童生徒の姿を評価し、改善を図るシステム作りをする。</p> <p>○現在抱える課題・問題の中から、体系的・計画的にテーマを決め自主に研修会を実施し、教職員の資質・指導力向上をはかる。</p> <p>対象者 幼・小・中教職員 実施回数 年5回 講師等 ①テーマ「学力向上」講師：小川 勝(大阪府教育委員) ②テーマ「キャリア教育」講師：仙原康実(指導主事 西山雅人(地域雇用創造協議会)) ③テーマ「音楽指導」講師：石橋淑子(まねび学園講師) ④テーマ「学力向上」講師：征矢英昭(筑波大学教授) ⑤テーマ「学力向上」講師：小川 勝(大阪府教育委員)</p> <p>【事業内容変更届提出予定】</p>	<p>○安田町教育委員会 月日：8月4日 場所：安田町文化センター 「キャリア教育について」 講師：仙原康実(指導主事・西山雅人(地域雇用創造協議会))</p>																<p>・目標値＝全国学力学習状況調査及び到達度把握検査の平均値→前年度比10%アップ。 ・キャリア教育の観点で「目指す児童生徒像」を明らかにして、幼小中一貫した全体計画を作成し、児童生徒の姿を評価し、改善を図るシステム作りができる。</p>
	460,000	補助対象額	460,000															
3	<p>事業名 「たくましく生き抜く！」推進事業</p> <p>○コミュニケーション能力の育成や、仲間意識・人間関係づくりを醸成する。</p> <p>○仲間意識・達成感・充実感を高めることで、不登校・問題行動の発生を予防する。</p> <p>○危険体験により、仲間意識・自尊感情の醸成・仲間づくりを学び切実感を得ることで、コミュニケーションスキルを養うとともにリーダー育成をはかる。</p> <p>①PAを取り入れた仲間づくりの推進 対象学年：1学年 PA内容：講師を招聘して教職員及び生徒がPAを学び、その手法を取り入れ指導を行う。</p> <p>②ラフティング体験(危険体験)等による仲間意識・達成感・充実感の醸成推進 対象学年：中学1年 内容：吉野川でのラフティング体験による生徒間のコミュニケーション能力の育成や、仲間意識を醸成する。</p> <p>【事業内容変更届提出予定】</p>	<p>○温かい笑顔作り 安田中1年 ・PA(安田中) ・ラフティング体験(吉野川)</p>	<p>○ラフティング体験成果と課題について 報告・地域への発信・幼小中で共有</p>	<p>○人間関係づくり・仲間づくり研修 ○本年度事業の検証と次年度の計画(校長会にて)</p>													<p>PAやラフティング体験により、仲間意識、自尊感情の醸成、仲間づくり及びリーダーの育成を図ることで、積極的に社会との関わりをもつことの大切さを身につけることができ、社会規範などの向上につながり、問題行動などの減少が期待できる。また、不登校、問題行動の発生予防的な効果も期待できる。</p>	
	382,500	補助対象額	382,500															

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

北川村教育委員会

総事業費	1,000,000円	補助対象額	1,000,000円	交付決定額	500千円	事業件数	1件
------	------------	-------	------------	-------	-------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	具体的な取組												事業費執行済額	補助対象額		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<p>事業名 生き方学び講座</p> <p>各学期1回は「生き方学び講座」(地域人材及び有名な人講師)を行い、郷土学習や興味・関心から学ぶことや働くこと、生き方や進路に関することについて考える機会にして、学ぶ意欲や肯定的自己理解と自己有用感を育てる。</p> <p>対象:児童(小学校5・6年生)、生徒(中学生)、保護者、地域住民</p>	<p>○計画 校長会で事業の周知を行うとともに、具体的な計画を確認する。</p>	<p>○第1回 生き方学び講座(対象 小学校5・6年生、中学生、保護者、地域住民)</p>					<p>○第2回 生き方学び講座(対象 小学校5・6年生、中学生、保護者、地域住民)</p> <p>○次年度の生き方学び講座についての内容を検討する。</p>		<p>○第3回 生き方学び講座(対象 小学校5・6年生、中学生、保護者、地域住民)</p> <p>○次年度の生き方学び講座についての内容が決定する。</p>			<p>○6月に第1回 目録に載っていたが、具体的な方向性が定まらず、実施にいたらなかった。8月に教員で再検討し、芸術関係(音楽家、音楽家)とスポーツ関係に押した。</p> <p>○第1回:日本文化でもある音楽家の方を招き、今後の生き方の参考とする。</p> <p>○第2回:車いすバスケの方々の招くことにより、生き方だけでなく、人権問題についても学習をする。</p> <p>○第3回:本土出身の音楽家ということもあり、身近に感じられるだろう。興味関心はもちろん、自己の生き方を考える上で、勇気づけられるだろう。</p>	<p>○抜本的・総合的な学習や探究的な学習をする。(各教科等との関連を図り、探究的な学習を通して、学び方やものの考え方が身につく。)</p> <p>○自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や力を育成できる。</p> <p>○問題の解決や探究的活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。(仲間と協同的に取り組む中で、よりよい自己の生き方を考えられるようになる。また、北川村の課題、村のよさや特色に気づき、積極的に社会に関わり合っていくようになる。即場体験にも生かせる。</p> <p>○自己の生き方を考えることができるようにする。「生き方学び講座」から様々な人とのコミュニケーションや学びを通して、広く社会や世界を見渡し、自分のすべきことを考えるようになる。</p> <p>この事業は数値化できないので、アンケートや感想から、児童生徒の学習を観察したり、手紙や学校の雰囲気の変化を観察する。</p>	<p>事業費執行済額 1,000,000円</p> <p>補助対象額 1,000,000円</p>		
<p>事業名</p>																

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

馬路村教育委員会

総事業費	2,570,000	補助対象額	2,570,000	交付決定額	1,285 千円	事業件数	5 件
------	-----------	-------	-----------	-------	----------	------	-----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	実施期間												事業費執行済額	事業費執行済額	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
<p>事業名 基本的な生活習慣と家庭学習習慣の定着及び基礎学力の定着及び学力向上</p> <p>家庭教育や家庭での学習に関する勉強会・講演会の開催と支援、基本的なしつけとともに睡眠時間の確保、食生活の改善、家族のふれあいの時間の確保といった生活習慣の確立や予習・復習の習慣化に関する理解を深める取り組みを保護者とともに推進する。また学校ではつまづきや加力対策のため教材を整備し学力の向上に取り組む。</p> <p>1 ○勉強会・講演会の開催 PTA・保護者を対象とした上記の理解を深める事の出来る講師を招聘する。 ○加力学習の実施 適切な学習プリントの購入、宿題の作成、個に応じたフォロー</p>														458,886円	円
<p>事業名 小・中連携教育</p> <p>魚梁瀬小学校では平成20年度から小・中学校一貫教育を実施しており、馬路小学校でも小学校の複式学級増への対応として中学校との連携を深めながら、校種間の教員の授業乗り入れによる複式の一部改善等で学力向上や小学校から中学校への円滑な接続を図るための研究を推進するために複式学級や小中連携取り組みの先進校の講師招聘や視察・研修を行う。</p>														0円	円
<p>事業名 キャリア教育の推進</p> <p>将来馬路村をはじめ社会で活躍し貢献のできるよう、学びの目的や将来の夢をしっかりと持って、自ら学びたくましく未来を切り拓く児童生徒の育成をするためにキャリア教育の視点にたつて授業改善を行うとともに、教育環境を見直し、保護者や地域の理解・協力を得ながら、キャリア教育を推進するため、様々なキャリアアドバイザーを招聘する。</p> <p>3 ○キャリアアドバイザーを招聘してキャリア教育の対する教員及び保護者の理解を深める講演会の開催 ○小・中学校の児童生徒全員及び学校別にキャリアアドバイザーを招聘した授業(講演)</p>														130,000円	円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

馬路村教育委員会

総事業費	2,570,000	補助対象額	2,570,000	交付決定額	1,285 千円	事業件数	5 件
------	-----------	-------	-----------	-------	----------	------	-----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	実施期間											事業費執行計画	事業費執行計画				
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			11月			
地域で行う生涯学習活動 1 芸術・文化・スポーツ活動 2 生涯学習・ボランティア活動 ※事業に取り組むにあたっては、会館の利用促進はもとより、地域の青年・女性の学びや活動の活性化及び児童・生徒の育成にも配慮する。 具体的な内容については村内の7地域からの要望や希望を受けたうえで、教育委員会が地域と協働して取り組む。	計画																	
	実績	○田んぼオーナーとの交流(和名)	○20日虫送り・民俗・伝統料理教室 秋会(和名)	○ガン負傷の傾向と地域防犯会・10日形防犯会(和名)	○5日地震に備える勉強会(和名)													
			○協賛・野原の植え付け・ティ利用者(和名)	○夏のカンパニョネ・小学生4/5/6年生(和名)	○8日 野球教室(和名)	○9日 野球場整備(和名)												
	○かわら版発行(和名)	○かわら版発行(和名)	○かわら版発行(和名)	○かわら版発行(和名)	○かわら版発行(和名)	○かわら版発行(和名)												
事業費	500,000	補助対象額	500,000														233, 937円	円

事業名	計画	実施期間											事業費執行計画	事業費執行計画				
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			11月			
読書活動支援員を馬路地区に1名配置し、村の図書室や学校の図書室などを利用する方の読書活動を、本を紹介したり、手渡しをすることで、支援し、図書室のレイアウトや選書を行うことで、本を手に取りやすい環境づくりや、読みきかせなどにより、本を読むことの楽しさを伝える。 子どもの読書活動推進計画を策定し、読書活動の推進の施策と方向性と取り組みを示す。	計画																	
	実績	○馬路地区、魚沼地区の読書の読み聞かせの開催	○馬路地区、魚沼地区の読書の読み聞かせの開催	○馬路地区、魚沼地区の読書の読み聞かせの開催	○馬路地区、魚沼地区の読書の読み聞かせの開催													
		○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)												
	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)	○おはなしくラブの開催(馬路小)												
事業費	870,000	補助対象額	870,000														281, 400円	円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

芸西村教育委員会

総事業費	255,000円	補助対象額	255,000円	交付決定額	127千円	事業件数	1件	
3 各事業別の今後の具体的な取組								
1	事業名	小学校を中心とし、幼・小・中の連携による学力向上推進事業						
	内容	<p>○小学校・中学校合同の授業研究を実施、講師を招聘して研究を充実させ、児童・生徒の学力を高める授業改善の研究を行う。 授業研究1回 講師：鳥取大学地域学部長 矢部 敏明氏 ○学力の基礎である生活習慣の改善を目指し、保育所・幼稚園・小学校・中学校の教員と保護者を対象とした講演会を実施するとともに、「食」「睡眠」の授業研究を行う。 講演：「子どもたちの生活リズムを考える」講師：和洋女子大学人文学部教授 鈴木みゆき氏 参加予定人数：200人 ○幼稚園・小学校の先生の資質向上を目指し、講師を招聘して「幼児理解」についての国内研修を行う。 講師：濱川 博子氏</p>						
	事業費	255,000円	補助対象額	255,000円				
2	事業名							
	内容							
	事業費		補助対象額					
3	事業名							
	内容							
	事業費		補助対象額					

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

本山市教育委員会

総事業費 2,500,000円 補助対象額 2,500,000円 交付決定額 1,250千円 事業件数 1件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	スケジュール												事業費執行額	補助対象額	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
事業名 子どもの体力パワーアップ作戦指導者派遣事業 保育所や小学校単位の体育専門指導者による実技指導を通して、保育士や教員へ活動方法等の研修を行う。また、年間を通じた体力向上にかかる企画立案への助言をする。(総指導時間 150時間) ・保育所 遊びの中から体力づくり運動を基本に運ぶ。 ・小学校 基礎体力の向上のため体育授業で運動実施時間を増やし適切な技術的指導が行えるよう体育指導員が授業に関わり指導する。 ・特別指導 水泳指導 陸上指導	保小・地教委 打合せ(全 体研修)	保小・地教委 打合せ(1 学期の計画 づくり)	マット運動(百野小3時 間・本山小18時 間)	水泳(百野小3時間 本山小22時間)	保小・地教委 打合せ(中 間研修・2学 期の計画づ くり)	陸上(本山 小) 飛び箱(本 山小) 鉄棒(本 山小) 合計65時間	7・百野6時 間・16・百野8 時間 4・百野8時 間 合計65時間	保小・地教委 打合せ(2 学期の計画 づくり)	マラソン(10時間)	飛び箱(19時間)	保小・地教委 打合せ(全 体研修)	保小・地教委 打合せ(全 体研修)	750,000円	750,000円	専門性を要する 体育授業への支 援や指導・助言を 得る事により、教 員員の指導力が 向上する。それ により実践的な活 動や技術指導が可 能となり、児童の 体力と技術力が 向上する。
事業費 2,500,000円 補助対象額 2,500,000円															
事業名	計画														
事業費															
事業名	計画														
事業費															

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

総事業費	6760200円	補助対象額	6,760,200円	交付決定額	3,380千円	事業件数	3件
------	----------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	進捗状況	成果	評価	取組	事業費	補助対象額
事業名 小中連携重点教科指導事業(外国語) 1 教科支援員1名を、町内3校の小学校に派遣し、小学校外国語活動の充実を図るため、学級担任とのT・T等による授業の実施。 2 教科支援員による、中学校で英語教育の充実を図るため、授業や放課後、長期休業中における加力指導等の支援の実施。 3 保育所(3園)での英語による遊びの中での国際交流の推進。	計画 ・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校) ・外国語活動:町内各小での活動方針決定	・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校) ・外国語活動:町内各小での活動方針決定	・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校) ・外国語活動:町内各小での活動方針決定	・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校) ・外国語活動:町内各小での活動方針決定	・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校)・支援員の派遣(週1回町内3小学校) ・外国語活動:町内各小での活動方針決定	4042200	4,842,200円
事業名 小中連携重点教科指導事業(体育科) 1 小中連携の充実を図り、児童、生徒の体力向上を推進するため、体育学習の専門知識を有する実技家を招聘し、教員員の体育学習及び、教科外体育の指導力向上を図る。 2 小学校における、児童の実態に応じた、取り組みを充実させ、運動習慣の定着を図る、そのために指導体制を強化し、授業力アップを目指し、児童が基礎的な運動技能、能力を身につける授業展開を図る。	計画 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・町内4校合同スポーツフェスタ実施 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・小学校体育指導本(わたしたちの体育)について遠征町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会	・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・町内4校合同スポーツフェスタ実施 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・小学校体育指導本(わたしたちの体育)について遠征町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会	・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・町内4校合同スポーツフェスタ実施 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・小学校体育指導本(わたしたちの体育)について遠征町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会	・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・町内4校合同スポーツフェスタ実施 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・小学校体育指導本(わたしたちの体育)について遠征町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会	・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・町内4校合同スポーツフェスタ実施 ・町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会 ・小学校体育指導本(わたしたちの体育)について遠征町内各小・中体育委員会・大豊町教育研究会	1524000	1,524,000円
事業名 小中連携指導力アップ事業 1 児童、生徒の課題を把握し、1人ひとりの能力を引き出す授業を行う。 2 教員が常に研鑽つため、児童、生徒の立場に立って楽しい授業を行う。 3 各資料を分析する能力、的確な指導を身につけるための研修への参加。	計画 ・校長会・小中連携推進協議会(京大大学院)・小学校・中学校教員研修会(同) ・校長会(金)・小中連携推進協議会(CR)・小学校・中学校教員研修会(同)	・校長会(金)・小中連携推進協議会(CR)・小学校・中学校教員研修会(同)	・校長会(金)・小中連携推進協議会(CR)・小学校・中学校教員研修会(同)	・校長会(金)・小中連携推進協議会(CR)・小学校・中学校教員研修会(同)	・校長会(金)・小中連携推進協議会(CR)・小学校・中学校教員研修会(同)	594000	594,000円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表(No. 2)

地教委名

土佐町教育委員会

Summary table with columns: 総事業費 (Total Budget), 補助対象額 (Subsidy Amount), 交付決定額 (Disbursement Amount), 千円 (Thousand Yen), 事業件数 (Number of Projects), 件 (Items).

3 各事業別の今後の具体的な取組

Main project management table with columns for project name, budget, and a 12-month timeline (April to March). Includes project descriptions and progress indicators.

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

大川村教育委員会

4 件

1,199千円

事業費

交付先年度

2,399,820円

補助対象額

2,399,820円

事業費

事業名	事業費	補助対象額	交付先年度	事業費	事業内容	進捗状況	成果	評価
事業名: つなごう112年間の学び	400,000円	400,000円	2012年度	400,000円	① 1人1冊の読書の習慣を身につけ、読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ② 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ③ 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	
事業名: 読書の楽しさを味わう	354,000円	354,000円	2012年度	354,000円	① 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ② 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ③ 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	
事業名: 読書の楽しさを味わう	400,000円	400,000円	2012年度	400,000円	① 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ② 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。 ③ 読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。読書の楽しさを味わう。	

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

いの町教育委員会

総事業費	11,269,940円	補助対象額	11,269,940円	交付決定額	5,834千円	事業件数	7件
------	-------------	-------	-------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	学校と地域の教育力向上を目指したスクールコミュニティ育成事業	スケジュール												事業説明	事業費	補助対象額	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
事業名 学校と地域の教育力向上を目指したスクールコミュニティ育成事業 (1) 学校教育支援事業 ①キャリア教育支援…優れた知識・技術を持つ地域の人材を講師として招聘 ②体験活動支援…地域の文化や環境を活用した体験活動を地域住民の協力で実施 (2) 就学前教育支援事業 体験活動等を実施するために、地域の人材等を講師として招聘 (3) 学校支援ボランティア育成・活用事業 困られた学校づくりを進め、地域住民による学校支援ボランティアを育成	計画 ○国長・校長 会にて進捗説明 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出												○中核団員向 けて、事業費 区分について の実践的 研修	○事業としては 計画通り実施さ れている。 ○各園・学校へ 予算執行状況 を通知し、計 画的な事業実施 を依頼した。	2,460,000円	2,460,000円	
	実績 ○国長・校長 会にて進捗説明 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○事業費 区分について の実践的 研修 ○事業費 区分について の実践的 研修 ○事業費 区分について の実践的 研修	○事業が実施 中の22園・学 校へ予算執 行状況通知 ○未実施園・ 学校へ追加 募集通知 (1) 追加募集を 基める園 中学校	○事業費 区分について の実践的 研修	263,897円
事業名 あがわっ子生活リズム・体力向上推進事業 1 生活実態調査分析に基づく保護者・教職員向け講演会や啓発資料の作成 2 親子ふれあい体操講習会・ジュニアリーダー育成事業 小中学校児童生徒の体格・体力・運動能力テスト結果を全国平均まで引き上げる。 3 ①保育・幼稚園児の睡眠10時間以上の確保 ②保育・幼稚園児の徒歩通園と園内での戸外遊びの奨励 ③小3以上のメディア時間を2時間30分以内 ④小中学生の家庭学習時間の確保	計画 ○国長・校長 会にて進捗説明 ○事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	○体力の向上 には子ども本来 の生活習慣と運 動習慣が大きく 関わっているこ とが明らかとな り、人との関わり の重要性を認識 することができ る。また、この取 組を継続し、経 年変化をみるこ とで、課題解決 に向けたR-PCDA サイクルを確立 することができる。	1,039,940円	1,039,940円	
	実績 ○国長・校長 会にて進捗説明 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	実績・分析 ○各園・学校 からの事業計画 圖書提出	実績・児童・ 生活実態 調査実施	○「生活実態調 査」は推進委員 会事務局で分析 中。 ◎いのっ子ス ポーツフェスタ 2010は、8月か ら1月へ延期。	123,400円	円

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

いの町教育委員会

総事業費	11,289,940円	補助対象額	11,289,940円	交付決定日	5,634千円	事業件数	7件
3 各種教育の今後の具体的な取組							
事業名	いの町小学校外国語活動推進事業						
事業費	352,000円						
事業内容	<p>①研究推進校(伊野南小学校)は計画に従って事業を実施する。町教委は事業実施支援と執行調整を行う。</p> <p>②外国語活動自主公開授業発表会の開催</p> <p>③研究校交流事業</p> <p>④いの町小学校外国語活動推進事業連絡協議会の実施</p> <p>⑤給食調理室を年間3回実施し、事業の普及と促進を行う。</p>						
事業費	352,000円						
事業内容	いの町小学校ICT活用推進事業						
事業費	710,000円						
事業内容	<p>いの町小学校・伊野南中学校をモデル校としてICT活用の実践研究</p> <p>1 関係機関による教員ICT活用推進力養成</p> <p>2 電子黒板等を活用した教育に関する調査研究…授業モデルの策定と教員</p> <p>3 ICTを活用した特別支援教育への支援…児童生徒のICT活用推進力の向上</p> <p>4 学校における情報モラル教育の推進…児童生徒の情報モラル教育の充実</p>						
事業費	710,000円						
事業名	いの町小学校外国語活動推進事業						
事業費	352,000円						
事業内容	<p>①研究推進校(伊野南小学校)は計画に従って事業を実施する。町教委は事業実施支援と執行調整を行う。</p> <p>②外国語活動自主公開授業発表会の開催</p> <p>③研究校交流事業</p> <p>④いの町小学校外国語活動推進事業連絡協議会の実施</p> <p>⑤給食調理室を年間3回実施し、事業の普及と促進を行う。</p>						
事業費	352,000円						
事業内容	いの町小学校ICT活用推進事業						
事業費	710,000円						
事業内容	<p>いの町小学校・伊野南中学校をモデル校としてICT活用の実践研究</p> <p>1 関係機関による教員ICT活用推進力養成</p> <p>2 電子黒板等を活用した教育に関する調査研究…授業モデルの策定と教員</p> <p>3 ICTを活用した特別支援教育への支援…児童生徒のICT活用推進力の向上</p> <p>4 学校における情報モラル教育の推進…児童生徒の情報モラル教育の充実</p>						
事業費	710,000円						

事業費	5,634千円	事業件数	7件
事業名	いの町教育委員会		

事業名	いの町小学校外国語活動推進事業	事業費	352,000円	補助対象額	352,000円
事業内容	<p>①研究推進校(伊野南小学校)は計画に従って事業を実施する。町教委は事業実施支援と執行調整を行う。</p> <p>②外国語活動自主公開授業発表会の開催</p> <p>③研究校交流事業</p> <p>④いの町小学校外国語活動推進事業連絡協議会の実施</p> <p>⑤給食調理室を年間3回実施し、事業の普及と促進を行う。</p>	事業費	352,000円	補助対象額	352,000円
事業名	いの町小学校ICT活用推進事業	事業費	710,000円	補助対象額	710,000円
事業内容	<p>いの町小学校・伊野南中学校をモデル校としてICT活用の実践研究</p> <p>1 関係機関による教員ICT活用推進力養成</p> <p>2 電子黒板等を活用した教育に関する調査研究…授業モデルの策定と教員</p> <p>3 ICTを活用した特別支援教育への支援…児童生徒のICT活用推進力の向上</p> <p>4 学校における情報モラル教育の推進…児童生徒の情報モラル教育の充実</p>	事業費	710,000円	補助対象額	710,000円

事業費	5,634千円	事業件数	7件
-----	---------	------	----

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

いの町教育委員会

総事業費 11,268,940円 補助対象額 11,268,940円 交付決定額 5,634千円 事業件数 7件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	内容	実施期間												事業費	補助対象額	事業費執行済額	事業費執行済率
		22年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月				
いの町ハートケア相談活動支援事業	<p>1 「はあとステーションいの」での臨床心理士による来所相談及びスーパーバイズ</p> <p>2 事務局非常勤職員による各機関との連絡調整及び全体的な集約</p> <p>3 危機管理・生徒指導に関わる町内保幼小中教職員向け研修の実施</p> <p>4 いの町少年育成センターによる園・学校支援の拡充</p> <p>5 「いの町子どもサポートネットワーク」の運営と拡充</p> <p>6 生徒指導上の諸問題の未然防止に向け、小中学校で連携して取り組んでいる県外先進校を視察</p>	<p>計画 ○園長・校長 会にて進捗説明</p> <p>実施 ○非常勤職員 を雇用</p>	<p>○個別ケース 検討会議 (4回)</p> <p>○個別ケース 検討会議 (11回)</p>	<p>○県外先進 校事例研修 (東京2)</p> <p>○個別ケース 検討会議 (4回)</p>	<p>○臨床心理 士による来所 相談は12月 末まで、相談 件数は個人2 2件・学校団 体10件、支 援センター3 件</p> <p>○個別ケース 検討会議 (2回)</p>	<p>○個別ケース 検討会議 (2回)</p>	<p>町内保幼小 中教職員向け 研修</p>	<p>事業内容</p> <p>○事業としては 計画通り実施さ れている。 ○臨床心理士 による来所相談 数は12月末 まで予約が入 っている状態で 利用が促進され ている。 ○「気になる子 ども調査」を実施 することにより、 支援が必要 な子どもや家庭 の早期発見が 各園・学校現場 で促進されている。 ○非常勤職員を 雇用し、「気になる 子ども調査」の 全体集計や 各関係機関との 連絡調整を行っ ている。 ○「気になる子 ども調査」で届 寄せられた人数 (実数)は61名 38日実施</p>	<p>○匿名による来所相談体制を組織 することで、児童生徒、保護者 及び教職員のカウンセリングが可 能となり、児童生徒の生徒指導上 の諸問題の未然防止や早期解決、 メンタルヘルスの維持が可能とな る。 ○各園・学校から「気になる子ども 調査」を提出してもらうことで、町 内教職員の児童生徒を見る「目」 の養成ができるとともに、園・学校 の範囲を超えるケースについて地 教委による早期支援が可能とな る。 ○県外先進校視察の成果につい ては、「いの町生徒指導担当者連 絡協議会」等において情報提供を 行い、各中学校ブロックの小中連 携の取組の一助とする。</p>	<p>568,308円</p>	<p>円</p>						
読書のつづき推進事業	<p>1 学校図書館の活用方法や読書活動の推進について、図書ボランティア・教職員・図書館関係者の読み聞かせの力を高めるための研修会を開催。</p> <p>2 町内作家を「オーサービジット」の講師として招聘し、もの見方や考え方、表現の仕方等について学ぶ。子どもたちに世の中の出来事や新聞への興味・関心を持たせる。</p>	<p>計画 1 講師の決 定・依頼 2 各園・学校 に計画書の出 しを依頼</p> <p>実施 1 講師の決 定・依頼 2 各園・学校 に計画書の出 しを依頼</p>	<p>2 各園・学校 から計画書出 し・目録提出</p> <p>2 実施校上 り実施報告書 提出</p>	<p>1 図書日誌 作成の進捗 打ち合わせ</p> <p>2 予定11回 校中、6校で 事業実施済 み。</p>	<p>1 HP・広報 誌や関係各 機関への広 報、参加受付</p>	<p>1 9/17-25 6、9/18-20 6の参加で 研修会を実施。</p>	<p>各園・学校の希望日によりオーサービジット講演会を</p> <p>各学校の希望日により「オーサービジット」講演会の実施</p>	<p>○研修会は図 書教育推進教 師との連携で計 画通り実施。わ かりやすかった との意見が多い。 ○オーサービジット 事業は、計画ど り進んでおり、 申請11園・校の うち6校が実施 済み。4校から 実績としてアン ケート結果が提 出されている。</p>	<p>○図書館関係職員と学校が同じ 研修を受けることで、連携による 協力的な取組が可能となり、子 どもの読書に対する関心・意欲・感 成の育成や子どもと本をつなぐ役 割としての図書ボランティアの力 量形成が期待でき、本を媒介とし て全ての関係者のレベルアップが 見込まれる。研修会終了後には、 参加者にアンケートを実施し、成 果を検証する。 ○「オーサービジット」の実施によ り、世の中の事象に対する見方や 考え方、表現の仕方等、子どもの 感性を育むことが可能であり、新 聞等活字に対する関心を持たせ ることができる。</p>	<p>95,000円</p>	<p>円</p>						

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アソシエーション」事業進捗管理表

仁淀川町教育委員会

地域振興

総事業費	5,304,800円	補助対象額	5,304,800円	交付決定額	2,652千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業費	補助対象額	事業内容	
			事業内容	事業費
子ども読書活動推進事業	1,441,000	1,441,000	<p>① 子ども読書推進計画の作成 ② 本の読み聞かせ等の開催(1回×5ヵ所) ③ 移動図書車の巡回(2回×5ヵ所)</p>	<p>児童が読書を楽しむ機会を創出し、読書習慣を身に付ける。親子で読書を通して親子の交流、家庭学習への支え、読書活動の活性化を図る。また、読書推進員による読み聞かせ活動の推進、本の読み聞かせ「新しい本の紹介」等の実施、読書活動の活性化を図る。また、読書推進員による読み聞かせ活動の推進、本の読み聞かせ「新しい本の紹介」等の実施、読書活動の活性化を図る。</p>
仁淀川町・ハートフル子育て支援事業	1,291,600	1,291,600	<p>① 親子の読書活動を通じて、お互いが共通理解を深める。 ② 子育て支援員による、子育て支援センター、保育園、小学校の読書活動、相談活動等の向上を図る。 ③ 子育て支援員による読書活動の開催、正しい読み方を指導するための読書活動の開催。 ④ 子育て支援員による読書活動の開催、正しい読み方を指導するための読書活動の開催。</p>	<p>子育て支援員による読書活動の開催、正しい読み方を指導するための読書活動の開催。 子育て支援員による読書活動の開催、正しい読み方を指導するための読書活動の開催。</p>

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

仁淀川町教育委員会

総事業費	5,304,800円	補助対象額	5,304,800円	交付決定額	2,652千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	2022年11月								事業総括	事業費執行額	事業費執行額		
	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8					
子ども読書活動推進事業 地域と連携し、子どもが身近なところで本に親しむ環境を醸成、読書習慣を身に付ける。親子で読書することで親子の交流、家庭学習へつなげる。具体的には親子で読書をする喜びを知ってもらうための「ほんのお話会」、「本の読み聞かせ」「新しい本の紹介」などを行い、学校・家庭で連携し親子で本を読む機会をつくる。また、読書推進員による読書ボランティアの育成や本を手渡す人がいる環境づくりをめざし読書の質の向上を図る。 ① 子ども読書推進計画の作成 ② 推進員、ボランティア、教職員対象の研修会(年4回) ③ 本の読み聞かせ会等の開催(1回×5か所) ④ 移動図書館の開催(2回×6か所)									読書推進計画策定に係る検討会の開催(4回予定) 読書推進員の学校・子ども読書・保育園・子育て支援センター等への支援活動	○5月に中央公民館の図書室を本を中心とした図書室として2階に移設させ、子どもから大人までが利用しやすい環境にした。 ○独立図書館の発想事業「読書ハウス」(11/17)「ワイルド読書」(11/21)「読書習慣づくり」(11/25)などにより積極的に利用し、広く住民に読書・読書の充実を図ることができた。 ○9月に保育園や子育て支援センター、図書館子ども図書と連携して幼児期からの読書支援を強化する予定。 ○町立図書館において本の管理システムの改善を図る。	571,225円	A・B・C ※2 A・B・C ※1	幼児期から読書に親しみ親子ともに読書好きの人づくりをめざすことで、愛情あふれる親子関係や小学校からの家庭学習の習慣に結びつける。読み聞かせ等の研修会を行い、推進員、ボランティアが力を高めることで自ら読書できる体制をつくる。(学校、保育園など)で自ら読書かせを間接できるようなにする。)幼児期から大人までの仁淀川町にあった読書活動推進計画を立てる。(22年度中に計画案ができるようにする。)
仁淀川町ハートフル子育て支援事業 ○ 職員の研修、交流活動を通して、お互いが共通理解を深める。 ・チーム支援体制の拡充のための指導員研修を月1回開催(教職員、保婦科、相談員) ・非常勤職員による、子育て支援センター、保育園、小・中学校の連絡調整、相談活動等 ・0歳からの親子支援 ○ 支援の必要な児童生徒を早期に発見し、正しい対応をするために関係職員の資力の向上を図る。 ・特別支援教育・保幼小連携コーディネーターによる指導 ・大学教団等による研修会の開催(年3回開催:保護者、教職員、担当職員等を対象) ○ 生活実態調査を行い、分析結果をもとにも家庭に生活習慣を知らせ、帰国・食事・運動の大切さを子どもたちに伝達させる。地域協議会等でも検討を行う。 ・心身ともに穏やかな生活習慣づくり ・読書時間や家庭学習時間の確保 ・保・小・中と関係機関とで分析結果の検討会の開催(1回)									特別支援教育・保幼小連携コーディネーターによる 子育て支援員による各専門機関連絡調整	○子育て支援員の研修で、地域として親になる子どもの読書支援を行い、夏休み期間中に子育て支援員の研修を実施させた。子育て支援員からの親子支援を強化し、各関係機関にも連携する予定。 ○9月に特別支援教育コーディネーターを活用した保育所及び小中学校への支援を実施する予定。 ○生活実態調査の分析や活用、取組との連携について関係機関を連携し、仁淀川町の子どもたちの育ちを共に支援し生活習慣の発見しを図る。	32,400円	A・B・C	生活実態調査をい町と連携して実施することで、吾川郡の子どもたちの実態をより深く分析し、対応も協力しながら実施することができる。病ごはんを食べる子どもたちを10%アップさせる。コーディネーターによる指導で、支援の必要な子どもの共通理解とチーム支援体制を拡充することができる。非常勤職員を頂くことで、保・小の連携や問題点の把握、専門機関への連携など、要支援児童・生徒の早期発見・早期対応につながる。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

仁淀川町教育委員会

総事業費	5,304,800円	補助対象額	5,304,800円	交付決定額	2,652千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業費	補助対象額	進捗状況												事業内容	事業評価	
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
<p>事業名 保・小・中連携教育推進事業</p> <p>○保・小・中連携委員の研修を段階づけ、ニーズに合わせて研修会等を充実させる。 ・新学習指導要領にもつなぐ外国語活動や各教科の研究推進、調剤派遣、情報交換、授業方向上のための実践交流(教務指導委員会、研究委員会・拡大校内研修・情報交換会等)の充実を図る。</p> <p>○教務指導委員会を含む保育所と小学校の連携教育の充実を図る。 ・保育園の連絡会において研修会を位置づける。</p> <p>○中学校では、得意を見つけたキャリア教育の充実を図るために町内外での職場体験学習の実践や各中学校において講師招聘による学習会の実施、また学習成果発表会の実施。</p>	1,572,200															<p>○保・小・中連携委員の研修会では、参加した各校の先生方から授業のイメージが良かった。2学期に早く授業に取り組みたい、などの感想が聞かれ、英語活動の目指すべき方向性を改めて認識できた。</p> <p>○各町内小・中・中連携委員では、県内各・地域と連携し、地域の資源を最大限に活用して、いかに連携を進めようかと考えてきた。さらに連携する加担者を確保する。保・小・中連携委員の研修会、教務指導委員会、研究委員会等、電子メールを使った授業の勉強会を計画した。</p>	<p>○外国語活動に関する研修会を実施することにより、授業の実践に役立てることと併せて、町内の小学校間の連携の場とする。また研修会を受けて小学校担任者が、授業公開等を行い、価値を高めるなど授業の推進に努める機会になる。(授業が楽しく負担等がわかる児童の割合を上昇させる。)</p> <p>○新学習指導要領の実施にもつなぐ研修会において、町内の課題の一つとして「キャリア教育」の継続的な推進を図るとともに町内の小・中の8年間の具体的な取り組みを切迫にすることができた。また「特別活動」等の「評価」についての研修会を実施することにより町内小・中学校教員間の共通理解と実践につなげることができた。(年間計画や評価の具体化を図る)</p> <p>○町内保育所の保護者を対象に「家庭での関わり方」や「親子で一緒にできること」について意識を向上させる。・年度末において事業評価を実施予定</p>
<p>事業名 児童生徒地域文化活動事業</p> <p>本庁では高齢化が進み、地域で伝統文化を継承していくことが困難な状況にある。児童生徒が山国郡の特色である多様な文化に接することにより地域文化を継承し、郷土に誇りをもたせることを目的とする。</p> <p>地域文化に係る人とふれあひ仁淀川町の良さを実感してもらい、地域の中にある宝を積極的に活用する場を提供する。</p> <p>池川中>生徒委員が神楽に取組む。若川中>地域に伝わる和太鼓に取り組む。仁淀中>太鼓踊り、池川小>神楽、大崎小>和太鼓、名野川小>神楽、別府小>秋葉祭り、長者小>秋葉祭り)このための指導者報酬と消耗品。</p>	1,000,000															<p>○池川中(2-3)とも地域文化への広がりを感じた。参加者が増えた。</p> <p>○長者小(秋葉祭り)は地域行事で大人たちといっしょに多くの児童が参加し、楽しみながら地域と交流することができた。</p> <p>○地域行事への参加も積極的に取り組む機会を増やしていくとともに、学校の取り組み方や地域の指導者へ今後につなげる支援を検討する。</p>	<p>児童生徒が、地域文化に係る人たちとふれあふことで、仁淀川町の良さを実感してもらい、郷土を愛する心を育てる。子どもたちがお互いに協力して一つのものを作り上げることによって協調性や連帯感、また伝統文化を苦勞して伝承している人々に対して思いやりの心なども育てる。年1回は合同で発表会の開催ができるようにする。地域のお祭りや神楽、芸能祭等に積極的に参加する。また本事業については、事業評価を実施する。</p>

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

中土佐町教育委員会

総事業費	4,223,050円	補助対象額	4,223,050円	交付決定額	2,111千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	実施時期												事業費執行済額	事業費執行済額	備考				
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月							
事業名 中土佐町生活リズム改善事業 ①中土佐町版生活リズム名人認定証を発行して、子どもたちに生活リズムの大切さについて考えさせ、実行への意欲を持たせる。 ②「生活リズム」「体力づくり」に関する研修会を開催する。 保育所・小中学校の教職員 1回(講話・実技指導) 保育所職員・保護者 1回(実技指導) 保護者・地域 1回(講演会) ③保護者・地域向けに「お便り」やポスターを作成して啓発を図る。	計画 校長教頭合同会で事業内容確認 5/10~21各保小中から活用希望園舎	7月 希望園舎をもとにした日程調整	8月 各校で前編先生作成様式での保小中生活リズムアンケート実施	9月 各校で生活リズム調査(様式は各校のもの・実施時期を町で統一)	10月 広報・保護者向けお便り、生活リズムについての啓発											外部講師から話を聞くことで、生活習慣を見直してみようと思った保護者もいた。教職員も講師の示した科学的な根拠となるデータから生活リズムの大切さについて改めて学ぶことができ、子どもや保護者への説明や啓発に役立っている。	A・B・C(※2)	就業時間や起床時間が極端に遅い子どもの割合の減少。朝ごはんを毎日食べている子どもの割合の増加。		
事業費 400,000円 補助対象額 400,000円																138,780円				
事業名 かつおの国の読書活動推進事業 ①子どもたちが地域の図書室を活用するきっかけ作りとして、地域の図書室に置く本を返す。選んだ本は、地域の図書室の他の読書とともに一週間学校に貸し出す。返書の際には、図書より図書室の使用方法や読書の紹介もしてもらう。(町内3ヶ所) ②読み聞かせ・ストーリーテリング等を通して読書への意欲を引き出す。読書の大切さについて保護者の啓発を図る。 町内全保育所(3園)・小中学校(7校)で、1回ずつ実施。 参観日や学校行事にあわせて保護者にも参加してもらう。 ③ポスター・チラシ・お便り等で中土佐町読書の日を家庭や地域に浸透させる。	計画 校長教頭合同会で事業内容確認 図書館主任・中学生による地域図書室の取組の調査・各保小中での読書に関する講話(2月)	7月 中学生による地域図書室の取組の調査(5/17~8/4第1回読書アンケート実施)	8月 中土佐町読書の日ポスター作成 地域図書室で読書の貸し出し(夏休み中)	9月 中学生で選書した図書貸し出し(他の中学校にも2ヶ月ずつ巡回)	10/4~2/2 第2回読書読書券(町展会場に展示 10/29~31)												保育所や学校での読み聞かせやストーリーテリングが、子どもと本の出会う機会となっている。中学生が選書した図書室の本の貸出率も高い。昨年7月からの毎月「中土佐町読書の日」は徐々に浸透しているが、家庭での読書時間を増やすためには、保護者に読書の大切さを意識してもらう必要があるため、今後はさらに保護者・地域向けの啓	A・B・C	読書が好きなお子さんの増加及び家庭での読書時間の増加。 保護者や地域の読書に対する関心を高める。	
事業費 400,000円 補助対象額 400,000円																	265,405円			
事業名 中土佐町小学校外国語活動推進事業 小学校3校に対して、専任のALT2名を派遣して、授業の補助や教員とともに教材研究をおこない小学校外国語活動を推進する。 大野見小学校…ALT:Aを毎週1日 笠幡小学校・上ノ加江小学校…ALT:Bを各校に毎週1日 中土佐町小学校外国語活動推進連絡協議会3回のうち、1回を大野見小学校研究発表会と重ねて開催する。 参加対象:町内及び近隣市町村小中学校教職員 参加人数(予定):60名 講師:高知大学 村端 五郎教授 研修内容:公開授業 全体協議 講話	計画 校長教頭合同会で事業内容確認 3小学校でALT活用(3月)	7月 外国語アンケート・第1回中土佐町小学校外国語活動推進連絡協議会(小学校外国語担当6名・中学校英語担当3名・ALT研修)	8月 ALTを交えた研修会(夏季休業期間中)	9月 ALTを交えた研修会(夏季休業期間中)	11/26 大野見小学校外国語活動研究発表会(第2回町連絡協議会)	12/3 佐川小研究発表会参加	第3回 町連絡協議会第2回外国語アンケート(検証)											町内各校のALTと連携した担任中心の授業作りや中道連携等について情報交換してもらい、各校が中道連携している。子どもたちもALTと関わり、授業中も積極的に話している。学校出口の授業後のアンケート結果からも外国語への関心は少ないことがわかる。2校に派遣しているALTが担当の授業により、外国語学習の意欲も、各校に高まっている。各校に1回ずつの予定で1日の活動となっている。	A・B・C	外国語活動が好きなお子さんの増加及び担任の外国語活動への抵抗を少なくする。
事業費 2,923,050円 補助対象額 2,923,050円																	543,250円			

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

様式1

事業名	事業内容												事業費執行済額	事業費執行済額	備考	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
事業名 中土佐町食育推進事業 ①「早ね、早おき、朝ごはん運動」を推進し、食を通じた子どもの健全な生活習慣を確立するため、朝食の重要性を理解させる。 ・町内中学校において朝食づくり教室を開催する。 ②家庭・地域と連携して料理教室を開催し、地産地消に対して理解を深めるとともに、地域の食材を活用することで、食生活の充実につなげる。 ・町内3地区(久礼・大野見・上ノ加江)での「地産地消料理教室」を開催する。 (専門家を招聘して地域の食材を使った料理教室の開催。) ③食育の啓発、普及を行う。 ・「中土佐町地産地消食育パンフレットの作成」 (地域の食材、生産者の紹介や簡単なレシピを掲載)	計画 校長教頭 合同会で事業 内容確認	事業内容 関係者打ち 合わせ	「地産地消 料理教室」 関係者打ち 合わせ		大野見地区 「地産地消 料理教室」 の実施	アンケート 実施 久礼 地区「地産 地消料理教 室」の実施 10/4-5 佐 達小	上ノ加江地 区「地産地 消料理教 室」の実施	上ノ加江中 学校「朝食 づくり教室」 の実施	大野見中 学校「朝食 づくり教室」 の実施	アンケート 実施(検証) 久礼中 学校「朝食 づくり教室」 の実施	パンフレット 印刷完成	食育パンフレットの 制作については、 町広域委員の助 言を受けながら子 どもたちが興味を もって、地域の特色を 活かした作品に仕 上がるように検討 をかさねている。 地産地消料理教 室については、1 地区の開催日程 内容が確定してい る。その他の地区 についても学校行 事等との調整を図 りながら実施する。	事業費執行済額 0円	事業費執行済額 円	食に対して興味をもつ子 どもの増加。事業開始時と終 了時にアンケート調査を実 施し、検証する。 朝食を食べている中学生の 割合を上昇させる。(久礼 中学校 88%(H21) → 95% (H22))	
事業費 500,000円 補助対象額 500,000円																
事業名																
事業費 補助対象額																
事業名																
事業費 補助対象額																

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

佐川町教育委員会 地域教委

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

事業名	事業費	補助対象額	交付決定額	事業件数	3件
<p>3 各事業別の今後の具体的な取組</p> <p>事業名 国際文化推進事業</p> <p>地区に所属している、国際文化「四ツ白太刀団」の英技を、保存金のメンバーが地元の小中学生に伝承する。 ・対象者 町立黒野小中学校の児童生徒の希望者 ・実施時期 8～11月の月曜日～20日の英技指導を小学生体育館にて行う。 また、9月・11月に行われる地域の行事で披露を行う。</p> <p>事業費 492,000円 補助対象額 492,000円</p>	492,000	492,000	492,000	補助対象額	3件
<p>1 佐川町内には約1,000人の児童・生徒がいるが、不登校やひきこもりの子どもが毎年少なからず出てくる。 こうした子どもたちの家庭に訪問し、生活や勉強の相談相手となり、学校に行けなくても教育機会空所には行ける状況をつくりだす。教育基金所で英会話力の習得を促さないよう相談にのり、努力指導を行う。併せて生活指導を行いながら社会への適応力を高めようとする。</p> <p>2～3名の子どもに対し2名の指導員を雇用し、家庭訪問や生活指導、加力指導を行う。</p> <p>事業名 英会話学習指導事業</p> <p>事業費 1,542,000円 補助対象額 1,542,000円</p>	1,542,000	1,542,000	1,542,000	補助対象額	1,542,000
<p>1. 2年間の英技事業 2. 小学校5、6年生で年38時間の外国語活動の実施 3. 英語研究校において英語ノート等を活用した効果的な指導方法、評価の在り方の研究等 4. 英語研究校の成果の普及</p> <p>事業名 外国語活動推進事業</p> <p>事業費 242,000円 補助対象額 242,000円</p>	242,000	242,000	242,000	補助対象額	242,000

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができなかった。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

越知町教育委員会

総事業費	895000円	補助対象額	89500円	交付決定額	447千円	事業件数	2件
------	---------	-------	--------	-------	-------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	スケジュール												事業費執行額	補助額	備考		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
事業名 越知町小中学校連携教育推進事業 1. 協同的な学びを小中学校の共通の研究項目として設定し、指導力の向上・授業改善に取り組む。学力向上や協同的な学びについて実践・研究してこれた方を講師として招聘し、小中学校の授業改善・児童生徒の学力の向上について指導助言をいただく。 2. 地域の実情を考慮に入れつつ、小学校低学年から中学校まで、発達段階に応じた家庭学習の意義を啓発するパンフレットを作成・配布し、児童・生徒の家庭学習への意識を高め、家庭学習の充実への協力を保護者に呼びかける。 3. 学校生活の決まりや授業の受け方、家庭学習の方法などをまとめたオリエンテーションの冊子を作成し、機会あるごとに内容の確認をするなど、中学校生活へのスムーズな移行をはかり、中1ギャップの解消を目指す。 4. 小学校高学年および中学生、およびPTA等の協力を得て、その保護者や幼保の保護者も含めてを対象に、親内伝氏を招聘し、語りと歌により命の大切さについて考える機会とするコンサートを実施する。 5. 高知県人権啓発センターのライブラリより、学年に応じた内容のビデオを借り受け、児童生徒に視聴させつつ、人権学習・道徳学習を充実させる。 6. 越知町人権教育推進協議会と共同で、人権擁護・生命尊重を訴えるパンフレットを作成し、全家庭に配布、その啓発に努める。	計画 小学校で家庭学習パンフレットを作成、配布。 中学校でオリエンテーション冊子を作成、配布。 実施 越知中学校にて研究授業をおこない、小中学校で実践先生による研修会をおこなった。 小学校で家庭学習パンフレットを作成、配布した。 中学校でオリエンテーション冊子を作成、配布した。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	人権啓発センタービデオ借り受けの準備、利用を呼びかける。	事業費執行額 230210円	補助額 円	協同的な学力の習得と命の大切さを学び、たくましく生きる児童生徒を育成する。小中学校が連携し、「共同的な学び」の研究を進め学力を全国レベルまで引き上げるとともに、人権擁護・生命尊重の意見を高める。
事業名 すてきなお母さん講座 子育て中の母親を対象とした講座の開催 「すてきなお母さん講座」講座3回 講師 村上 曜 氏 ☆ 子育て中は自分自身を向上させるチャンス ①自分の可能性を考えよう 美しいウォーキングでナイスボディを目指す ② 自分の魅力を引き出そう 正しいマナーと美しい立ち居振る舞い ③ すてきなお母さんに大変身 カラーコーディネート・メイクアップ	計画 子育て中の母親を対象とした講座の開催 「すてきなお母さん講座」講座3回 講師 村上 曜 氏 ☆ 子育て中は自分自身を向上させるチャンス ①自分の可能性を考えよう 美しいウォーキングでナイスボディを目指す ② 自分の魅力を引き出そう 正しいマナーと美しい立ち居振る舞い ③ すてきなお母さんに大変身 カラーコーディネート・メイクアップ	講師の決定と打ち合わせ。 3回の講座の内容と日程を最終決定し、広報や学校等の機関を通じてPRする。研究員のある程度の決定、事業開始。	参加者の決定、研究所準備。	第1回講座実施	第2回講座実施	第3回講座実施	PTAの母親委員と話し合いを持ち、日程等を検討した。委員自ら参加や呼びかけの協力もしてくれと喜ぶことであった。3回の講座に多くの母親が応募してくることを願う。	事業費執行額 円	補助額 円	子育て中の母親の資質の向上。過程の生活習慣づくりや、子どもの宿題に関心を持つ母親の育成。								
事業名	計画	目標・内容の決定 ①9月26日 ウォーキングと美しい身のこなしでシェイプアップ ②10月8日 ③11月27日	研究所の準備 ポスター制作 広報に案内文掲載	町内にポスター掲示 保・幼・小・中保護者宛に配布 ①9月26日 実施予定	事業費執行額 円	補助額 円	A・B・C	A・B・C	A・B・C									
事業名	計画	事業費執行額 円	補助額 円	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C									

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

日高村教育委員会

Summary table with columns: 総事業費 (7,387,620円), 補助対象額 (7,387,620円), 交付決定額 (3,693千円), 事業件数 (2件)

3 各事業別の今後の具体的な取組

Main project progress table with columns for project name, plan, and monthly progress from April to March. Includes details for '地域と学校のコラボレーション' and '学力総合ステップアップ事業'.

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

津野町教育委員会

総事業費	15,526,618円	補助対象額	9,526,618円	交付決定額	(変更6/25)4,763,000千円	事業件数	5件
------	-------------	-------	------------	-------	---------------------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	事業費執行計画	補助対象額
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
事業名 学力向上対策推進事業 ○全国学力・学習状況調査及び到達度把握検査を実施し、授業評価システムを活用した授業改善に取り組む。 ○幼幼期から中学校までの期間の中で、一人ひとりの子どもたちの成長を支援していくために、発達段階に応じた系統的・継続的な通読教育を推進する。 ・1学期に、各校で到達度把握検査の結果分析を行う。 ・夏期休業中に、津野町通読教育の会基礎学力部会で中学校区別に、6年間の教育課程の中での課題を明らかにする。 ・2学期に、各校で全国学力・学習状況調査の結果分析を行う。分析結果については、校長会でさらに分析し、改善のための対応を町で統一して実施する。 ・通読教育先進校(地域)の視察を実施し、保幼小中の通読の中で効果的な取り組みを学ぶ。 (行き先 兵庫県小野市河合小中学校 参加町内小中学校の学校長及び研究主任及び研修指導員) ・家庭学習及び生活改善に地域ぐるみで取り組むために、地域・家庭への働きかけを行う。(各校で家庭学習の早引き配布、津野町通読教育の会生活部会でメディアへの関わりについての文書を保護者及び地域に配布。学力と生活改善に関わる内容で、教育関係職員対象の講演会1回、保護者地域対象の講演会1回を開催する。	計画 ☆通読教育の会 本年度の計画 ☆教育関係職員会同研修会 ☆教育関係職員会同研修会 高知県教育委員会主催の通読教育に関する研修会	☆各校で到達度把握検査の実施 ☆通読教育推進委員会(家庭学習部)資料の作成(依頼)	☆各小中学校で到達度把握検査の結果分析	☆教育関係職員会同研修会 ☆各校で全国学力・学習状況調査の結果分析	☆各校で全国学力・学習状況調査の結果分析	☆校長会で15年間の振り返りを実施し、全国的な見直しを行う	☆通読教育の会より家庭学習部会資料の作成配布	☆町の研究員による通読教育の推進	☆通読教育の会 今年度の総括 ☆通読教育の会のまとめの作成	☆今年度の総括 ☆今年度の学力向上対策の作成	☆家庭学習部会資料にこれまでの通読教育の会から明らかになった成果と課題を添えることでより強固な家庭に呼びかけるようになる。 ☆学力調査の結果の分析に基づいた取り組みを行う場を設定する。 ☆研修指導員の成果を全校職員に示す手だてを	○学校評価によって具体的な成果を検証する(ABCD評価) ・「確かな学力の育成」を目標とした授業改善を進める(POCAサイクルの確立) H21 H22 A 37.5% → 60% B 62.5% → 40% C 0% → 0% D 0% → 0% ・基礎学力定着の充実を図る H21 H22 A 25.0% → 60% B 62.5% → 40% C 12.5% → 0% D 0% → 0%	事業費執行計画 130,000円 補助対象額 503,000円			
事業名 問題を抱える子ども等の自立支援事業 ○教育支援センター(通応指導教室)及び若者サポート教室にそれぞれ1名の指導員を配置し、問題を抱える児童生徒及び若年無業者等の支援を行う。 ・通応指導教室を中心として、地域の人材を活用したサポートチームによる不登校の未然防止、早期発見、早期対応につながる支援を行う。 ・津野町子ども支援ネットワーク(法定協)と連携し、虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ・不登校等を契機に若年無業者等となっている支援対象者の調査を実施し、早期の支援を行う。 ・学校に登校できずに、スクールカウンセラーによる相談を受けることのできない児童生徒及び、心の課題のある若年無業者に対して、カウンセリングを受けるきっかけ作りを行う。	計画 ☆教育支援センター-若年サポート教室-指導員配置 ☆通読教育推進委員会 ☆現場研修 ☆現場研修	☆津野町子ども支援ネットワークの会(東地区) ☆現場研修 ☆現場研修	☆津野町子ども支援ネットワークの会(西地区) ☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆現場研修 ☆現場研修	☆不登校等に対してスクールカウンセラーへ依頼したことで不登校が減少したことができた。 ☆不登校生徒の生活リズムを改善する取り組みや日々の生活に積極性を取り戻す取り組みをすすめていくことができた。 ☆津野町子ども支援センターの相談員が若年無業者等の対応を強化することで対応しやすくなったことができた。 ☆若年無業者等の支援内容、内、現在1名が就職中できている。	○不登校児童生徒数 ・小学校 H20 0% → H22 0% ・中学校 H20 2.15% → H22 1.50% ○虐待(ネグレクト)の未然防止、早期発見、早期対応。 ○若年無業者の把握。	事業費執行計画 816,941円 補助対象額 4,300,000円		
事業名 特別支援教育支援事業 ○津野町立小学校3校・中学校2校に、特別支援教育支援員を配置する。 ・小学校3校に1名づつ配置し、主に生活支援を行う。 ・中学校2校に1名を配置し、生活支援とともに学習支援を行う。 ・普通学級に在籍する特別な教育的配慮が必要な児童生徒数 葉山小学校 9人 精華小学校 1人 特別支援学級に肢体不自由(下半身麻痺)1名、病弱(免疫不全・股関節入)1名 中央小学校 2人 葉山中学校 7人 東津野中学校 5人	計画 ☆小学校2校中学校2校に特別支援教育支援員を配置 ☆支援員定例会	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回) ☆支援員定例会(月2回)	☆特別支援教育支援員が学校で効果的に支援に当たれるよう研修を支援する。また、支援員の役割や学校で効果的な活用方法を校長会等で示す。	○学力保障 ・授業参加することに課題のある児童生徒に対して生活支援を行うことにより、授業への参加を促すと共に、授業に集中できるよう支援を行うことで、学力保障を促す。 ・授業内容の理解に課題のある児童生徒に対して学習支援を行うことにより、授業中の学習理解支援と共に授業後の反復指導によって、学力保障を促す。 ○不登校の未然防止 ・集団に反応することが難しい児童生徒に対して、支援員が集団参加への支援を行うことにより、不登校の未然防止を図る。 ・情緒の安定に課題のある児童生徒に対して、支援員が相談役となりの居場所づくりをすることによって、不登校の未然防止を図る。	事業費執行計画 3,053,630円 補助対象額 8,601,600円		

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

津野町教育委員会

総事業費	15,526,618円	補助対象額	9,526,618円	交付決定額 (変更6/25) 4,763,000千円	事業件数	5件
------	-------------	-------	------------	----------------------------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業進捗状況												事業費執行額	補助対象額	事業費執行額	補助対象額		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
<p>事業名 津野っこブテくらぶ</p> <p>地域の方や保護者、外部の先生に来ていただき、3種類ほどの体験活動(作る・書く・体を動かすなど)が楽しんでもらえるコーナーを設定し、子どもは「やってみよう」「おもしろそう」と思うところを自由に選択して体験できるようにする。</p>	<p>← 各国との打ち合わせ調整 →</p> <p>← 体験コーナー実施 ・葉山幼稚園(9・11・12・1・2月) ・中央幼稚園(10・11・12・1・2月) →</p>												0円	269,020	0円	269,020		
<p>事業名 読書活動支援事業</p> <p>1 町図書館(2箇所中1箇所)へ職員(読書活動支援員)を1名配置し、利用しやすく、利用したいと思わせる環境整備及び読書推進活動を行う。 2 町住民福祉課が実施している幼児園(年6回)の機会等を利用して、1歳6か月児を対象にブックスタート事業を再び実施することで、乳幼児期からの読書導入に努める。</p>	<p>← 読書活動支援員への研修実施 →</p>												655,662円	1,582,798	655,662円	1,582,798		
<p>事業名</p>	<p>← 読書活動支援員への研修実施 →</p>																	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名 四万十町教育委員会

10件

事業件数

5,083,000千円

交付決定額

11,659,000,000円

補助対象額

13,056,000,000円

総事業費

3 事業類別の今後の具体的な取組

事業名	事業内容	実施年度	実施期間	実施場所	実施者	実施回数	実施人数	実施費用	補助対象額	事業進捗状況	達成状況	達成率	達成理由	達成困難理由
事業名	教育福祉・人材育成事業													
事業名	研修会の実施(1回) ・講義(講習)研修に関する調査・体験学習(研修)についての視察(体験等) ・関係機関等情報交換等 ・研究(公開)授業(4回) ・児童生徒への指導方法等について、互いの意見を述べ合いに学びあう 各年級別(学年)に合った人材教育に関する調査の企画、指導方法発表会 小学生(1-2年)、中学生(3-4年)、高学年(5-6年)、中学生	250,000	250,000	補助対象額	250,000									
事業名	大正一十和地区中高一貫教育推進事業													
事業名	大正一十地区の中学校及び小学校の児童生徒の学力向上を図る取組 ① 学力向上支援事業 ② 学力向上支援事業 ③ 学力向上支援事業 ④ 学力向上支援事業 ⑤ 学力向上支援事業 ⑥ 学力向上支援事業 ⑦ 学力向上支援事業 ⑧ 学力向上支援事業 ⑨ 学力向上支援事業 ⑩ 学力向上支援事業	1,400,000	1,400,000	補助対象額	1,400,000									
事業名	四万十町小学校外国語活動推進													
事業名	① 小学校外国語活動の拠点校(平成22年度は北川小学校)を中心に、日々 の英語研究や先進地域へ学校訪問等により、活動の進め方や教材開発・活用 についての研究。 ② 地産人材(非常勤講師)やALT等を活用した活動についての研究。 ③ 組織した活動を行ったための教材等の研究。	900,000	900,000	補助対象額	900,000									

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

四万十町教育委員会

総事業費	13,058,000.00円	補助対象額	11,856,000.00円	交付決定額	5,085.00千円	事業件数	10件
------	----------------	-------	----------------	-------	------------	------	-----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	事業内容	実施形式	担当	実施時期	実施回数	実施場所	実施人数	実施費用	補助対象額	備考
事業名 四万十町わんぱく学校開校事業 5月 募集案内 6月 開校式 7月 祖島宿泊研修(5年生) 沖の高岳宿泊研修(6年生) 8月 ウェル花夢宿泊研修(4年生) 12月 創作活動 1月 遠路登山体験 山の自然体学習 2月 駅伝大会参加 3月 閉校式 開校式及び閉校式以外の行事については、講師及び指導者が必要のため。 ①講師:6回(10,000円/人) ②指導者:69人(5,000円/人)	計画	事業内容	開校式	担当	実施時期	実施回数	実施場所	実施人数	実施費用	補助対象額	開校から閉校までの3年間で実施した。その結果、仲間づくりや自然学習による体力力の強化が図られ、豊かな個性と能力の伸長が図られている。今後は、進められた事業を実施することで、更なる体力力の強化を図る。また、今後の事業実施にあたっては、3年間の実施を踏まえ、小規模児童が参加しやすい状況を作るように、年代別交流の促進のための参加と育成の強化を図る。 本事業に取り組むことで、多くの子どもたちの体力力の強化を図り、豊かな個性の能力を伸長させ、夢や希望、あこがれを持ち将来を考える力を養う。 また、窪川地区は小規模小学校が多く、12小学校から窪川中学校への進学となっているため、少人数児童の中1ギャップ解消のためにも、わんぱく学校交流活動を通じ、より多くの友達づくりに役立てるものである。
事業名 知ることから始まる家庭・地域の子育て力強化事業 (現状) 開かれた学校づくり等により地域と一体となった児童・生徒の健全育成に努めているところである。しかし、地域住民の認識はまだまだ希薄であり、学校、行政、保護者と地域とが協同した支援体制になっていない状況である。 (事業内容) ①地域、家庭の子育て勉強会の開催 1地区200人(合計600人)位を対象とした、地域、家庭の子育て勉強会を、3地区(窪川地区、大正地区、十和地区)で開催する。 ②子育て相談の開設 各学校区において学校、保護者、地域住民との懇談会を年間3回程度開催し、相互の情報交換	計画	事業内容	開校式	担当	実施時期	実施回数	実施場所	実施人数	実施費用	補助対象額	10月中旬までに全ての小学校区と協議を行い、開催可能な学校区を選定した。10月中旬にPTA会長、地区長及び学校と開催日中内容等を決定する。また、PTAや地区長等により等目的を掲げ、保護者や地域住民の多くの参加を促す。開催予定としては、12月から3月に勉強会と懇談会を4回に実施する。 ①参加者らができるだけ多くの住民に伝えることで8000世帯の半数4,000世帯への波及を促進する。 ②子育て力の向上はもとより、児童虐待等の早期発見にも役立てるものである。
事業名 国際感覚高揚促進事業 (現状) 現在、オーストラリアと韓国への短期留学を実施しているが、少人数(10名程度)であり全体への広がりが希薄である。 (事業内容) 中学生を対象に総合研修として全員参加で行なう。 ①世界を巡る講演会開催 ②講師とのディスカッション(座談会)	計画	事業内容	開校式	担当	実施時期	実施回数	実施場所	実施人数	実施費用	補助対象額	事業終了後に対象中学生へのアンケート調査等を行うことで、事業効果を確認するとともに、今後の活動に反映させる。 国際的な視野を持った講師を招聘し、講演会、ディスカッションを実施することにより、世界観を身近で感じることが出来、より多くの生徒の国際的な視野を広げるものである。(対象生徒数=約500名)

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

四万十町教育委員会

総事業費	13,058,000.00円	補助対象額	11,658,000.00円	交付決定額	5,085,000円	事業件数	10件
------	----------------	-------	----------------	-------	------------	------	-----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	ことばで育む情報教育向上事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	進捗状況	事業費執行済額	
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画			
10	(現状) 現在、図書館読み聞かせは、不定期に図書館職員が行なっている状況であることまた、学校での読み聞かせはボランティア主体に実施しており、不定期であることや読み聞かせ技能の点から真に効果が上がっているか疑問な点が相聞見られる。 (事業内容) 読み聞かせ専属職員の配置、講習会の実施 ①四万十町立図書館内 読み聞かせ開催 週4回 年48回 ②各小学校18校へ、読み聞かせ出張 ③読み聞かせボランティアの拡充及び技術力向上 月1回の講習会	・毎週土曜日 読み聞かせ 開催	・毎週土曜日 読み聞かせ 開催 ・第1回読み 聞かせ講習 会 志和 小、丸山小に 読み聞かせ 出張	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	・毎週土曜日 読み聞かせ開催 日	読み聞かせ専属職員が研修や実務を 重ね技術力が向上 しているものと想 われるが、今後は 専門講師による助 産会を開催するこ とで更に技術向上 を目指すとともに、 専門家の影響により 技術力を向上する。 また、子ども達 への影響については、 学校と子ども たちの実感を協議 し継続付ける。 A B C	事業費執行済額 859,005円
		実績	・毎週土曜日 読み聞かせ 開催	・毎週土曜日 読み聞かせ 開催 ・第1回読み 聞かせ講習 会 志和 小、丸山小に 読み聞かせ 出張	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日	読み聞かせ開催 日		
事業費	2,058,000	補助対象額	2,058,000									事業費執行済額	859,005円

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

大月町教育委員会

総事業費 530,000円 補助対象額 530,000円 交付決定額 265千円 事業件数 1件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	2022年度												A・B・C	事業費執行済額	事業費執行済額				
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
<p>事業名 読書活動推進事業～こころ豊かなまちづくり～</p> <p>1.ボランティアによる読み聞かせをする。(保育所・小学校にボランティアが、学期ごとに1回程度訪問し、読み聞かせを実施。また、中学生が職場体験をする際、園児に読み聞かせを行う)</p> <p>2.保・小・中学校と町立図書館が連携し、本に親しめるような図書環境を整備する。</p> <p>3.学校が家庭と連携して本を読む習慣を身につけるために、読書の時間を計画的に実施し、親子で読書を楽しむようにする。(宿題で、読書や親子読書を課題したり、毎月23日を読書の日とする。)</p> <p>4.読書活動を推進するために看板の設置・啓発用パンフレットの作成をする。(保・小・中学校)</p> <p>5.読み聞かせの力量を高めるために指導者(先生方やPTA)対象に、講師を招き研修会5回(延べ人数50人程度)実施する。</p> <p>6.小中学校の参観日等に併せて講演会を年2回(延べ人数120人程度)実施する。</p> <p>7.先進校視察(土佐町の読書活動を大月町読書活動推進委員会12名程度が視察研修を実施する。)</p>	<p>計画</p>																A・B・C (※1)	30,000円	円	
<p>事業費 530,000円 補助対象額 530,000円</p>	<p>実績</p> <p>大月町読書活動推進委員会規約制定</p> <p>大月町読書活動推進委員会開催</p> <p>先進校視察研修 読書・ポスター等募集</p> <p>研修会開催 看板の設置 啓発用のパンフレットの作成 読み聞かせ</p> <p>研修会開催 講演会開催 啓発用のパンフレットの配布</p> <p>研修会開催 読み聞かせ</p> <p>研修会開催 読み聞かせ 広報掲載</p> <p>大月町読書活動推進委員会開催</p> <p>土佐町への先進校視察を終え、研修会・講演会等の講師等の人選を取りまとめ今後の読書活動の推進を図る。また、標語ポスターの集約をし広く住民に周知する。</p> <p>1.子ども達に読書の楽しさを実感してもらい、図書の貸出数のUP</p> <p>2.パンフレット・図書館便り・町広報に掲載⇒町立図書館の利用者UP</p> <p>3.読書の日23日に読書する⇒家庭での読書80%を目指す。</p> <p>4.読書活動推進に向けてのPR</p> <p>5.研修会の参加者延べ50名を目指す。大月町内読み聞かせボランティアを育成する。6.講演会の参加者延べ120名を目指す。</p> <p>7.計画・方向性を学び、実践に生かす。</p>																	A・B・C (※2)	円	円
<p>事業名</p>	<p>計画</p>																A・B・C	円	円	
<p>事業費</p>	<p>補助対象額</p>																A・B・C	円	円	
<p>事業名</p>	<p>計画</p>																A・B・C	円	円	
<p>事業費</p>	<p>補助対象額</p>																A・B・C	円	円	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

三原村 教育委員会

総事業費	5,284,009円	補助対象額	5,134,509円	交付決定額	2,567千円	事業件数	4件
------	------------	-------	------------	-------	---------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	スケジュール												事業費	補助対象額	事業費執行済額	事業費執行済率		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
事業名 特別支援学級要者児童支援事業 4月1日に看護師を採用する。 7月20日までの雇用 9月1日から再度勤務 3月24日まで雇用する。													1,763,609円	1,692,309円	533,100円	A・B・C(※1)	A・B・C(※2)	該当児童の教育を受ける権利を保障するとともに、心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた児童を育て、生涯を通し学び続ける意欲を育むことができる。
事業名 「笑顔とあいさつ日本一の村」づくり 三原村の小学生には、大にまわってあいさつをしない、また朝食を取らずに登校する児童・生徒が多いことが課題となっている。挨拶は、豊かな人間性や社会性を養うための基本で、児童生徒が自発的に挨拶するためには、地域や家庭から「笑顔とあいさつ」する事が「笑顔とあいさつ日本一の村」づくりをキャッチフレーズに「笑顔とあいさつ」する運動を村内全域に広めていく。そのために、保育所長、中学校長、教育委員会事務局で組織する4者委員会で「笑顔とあいさつ日本一の村づくり」の啓発用チラシを作成し、村内全戸に配布する。また、保、小、中、教育委員会の校内に掲示板を設置し、保護者等も巻き込んだ啓発運動を行う。小学校で既に肥満の児童が多く、その原因として不規則な食習慣や栄養バランスの偏り、食生活の乱れが深刻となっていることの実態だと考えられる。そのため、まず「子どもの食育は、保護者(親)の役割が最も重要である。」と言う事を保護者や村民に知ってもらうため、啓発用チラシを作成し配布を行う。さらに、食生活改善推進員の協力で食べる能力や、つくる能力を養い、豊かな人間性と自己管理能力を養うことを目的とし、各学年とも親子による調理実習を行って食育の推進に努め、「早寝、早起き、朝ごはん」等子どもの生活習慣が確立する運動を展開する。	6月に中に事務局で検討する。 6月中旬に全戸にチラシを配布する。 食育啓発用チラシの配布	6月20日に業者と各校の内容を確認する。	調理実習、6月8日(小学3年生)13日(小学1年生)15日(中学2年生)対象に実施する。	調理実習7月8日(小学6年生)対象に実施する。30日区長さんを通じて全戸へチラシを配布する。	8月6日の教育委員会から業者から提案があったA、B案からB案(別添資料のとおり)に決定する。	8月8日に4ヶ所の設置場所を決定し、9月下旬発注する。	食生活指導のため親子での料理教室を8回の計10中、4回実施し、食育の推進が図られた。 ・村内全戸へ啓発用チラシを作成配布し「笑顔とあいさつ日本一の村」づくりを推進した。	316,643円	A・B・C	・あいさつが人としての基本であることを広く周知し、地域においてあいさつができるようになる。 ・児童生徒や地域の方々のコミュニケーションが図られることで、地域の教育力を向上させ、生徒指導上の諸問題などを未然に防ぐことにつながる。 ・食育活動を推進することで、児童生徒の数を減少させる。 ・栄養バランスも考えたきちんとした食事が取れるようになることで、健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための土台づくりにつながる。								
事業名 小中学校図書室支援員配置事業 4月1日に図書支援員を採用する。 年間を通じて…図書室の整理、図書台帳のデータ化、図書購入の受け入れ・整理、新刊本・推薦図書等の紹介、朗読タイムの巡回(中学校)図書委員会活動の支援(小学校)、生徒会文化祭の支援(中学校)、図書の読み聞かせ、読み聞かせボランティアとの連絡調整提供資料の提示、パネルの作成、宿毛市図書支援員、公民館図書支援員との連携、個人別読書日数のグラフ化など												1,650,000円	1,772,000円	774,000円	A・B・C	A・B・C	・書架の整理、図書支援員一覧表の作成、受け入れリストの情報のデータ化を進め、8月には、小学校児童別読書日数グラフの提示も行った。 ・本に親しむ機会を増やし、本を読むことが好きな児童・生徒を増やすことによって、徐々に読み取る力をつけることができる。 ・学力テストからも算数、数学の文章題が苦手ということがはつきりしており、読みとる力をつけることで、学力の向上につながる事ができる。	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

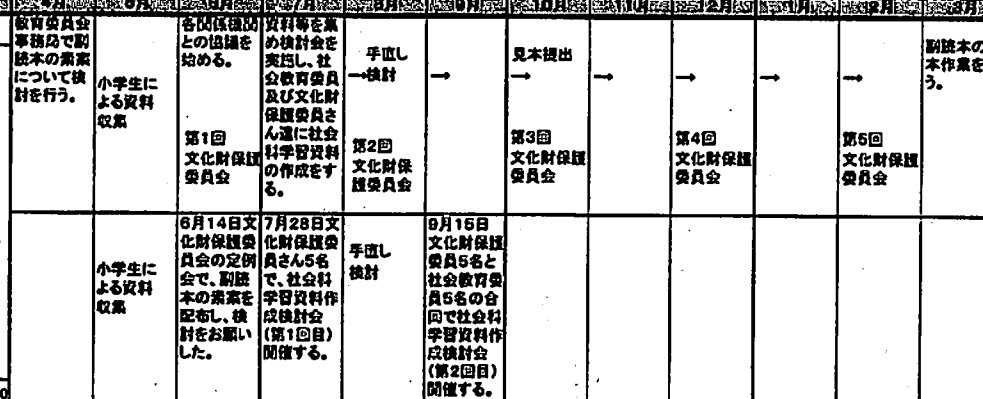
地教委名

三原村 教育委員会

総事業費 5,284,009円 補助対象額 5,134,509円 交付決定額 2567千円 事業件数 4 件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業内容		事業進捗管理表												事業費執行済額		事業費執行済額	
事業名	小中学生の社会科学習資料作成	進捗状況												事業費執行済額		事業費執行済額	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	円	円	円	円
事業費	808,000													92,300円		円	
	補助対象額																
事業名		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	円	円	円	円
事業費																	
補助対象額																	



※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

黒潮町教育委員会

総事業費 300,000円 補助対象額 300,000円 交付決定額 150,000円 事業件数 1件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	事業進捗状況												事業費執行済額	補助対象額	事業費執行済額	事業費執行済率			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
<p>事業名 小学校外国語活動推進事業</p> <p>1 年間3回の黒潮町小学校外国語活動連絡協議会を開催し、大学教授や指導主事を招聘して講演会や公開授業・研究発表・実践協議等を行い、小学校教員が実践できる外国語活動を町内外の小学校に広め、小学校における外国語活動の水準を向上させる研究及び実践を行う。</p> <p>2 同連絡協議会は研修とし、各小・中学校の外国語活動・英語担当が必ず参加して自校の校内研修や英語部会で伝達講習等を行う他、研修対象以外の教職員にも広く呼びかけて、毎回20名以上の参加者を募る。(町内小学校9校、中学校2校)</p> <p>3 本事業の指定校(入野小)が年間を通して授業づくり等の研究を行い、その研究成果を第2回連絡協議会での発表や冊子での配付等を行うことによって、指定校における成果の普及を図る。</p>	<p>計画</p> <p>黒潮町小学校校長会において、本事業及び事業計画の概要の説明</p> <p>・県外先進校訪問(松山寺)</p> <p>・県内先進校訪問(黒崎町)</p> <p>・第1回黒潮町小学校外国語活動連絡協議会開催(黒野小・黒崎公園、講師)</p> <p>・第1回小学校外国語活動に関する意識調査(児童用・小中教員用)実施</p> <p>・調査結果の集計分析</p> <p>・調査結果の配付</p>																			
	<p>実績</p> <p>黒潮町小学校校長会において、本事業及び事業計画の概要の説明(4/9)</p> <p>・県内先進校訪問(4/22黒崎小)</p> <p>・県外先進校訪問(7/4黒崎町)</p> <p>・第1回小学校外国語活動に関する意識調査(児童用・小中教員用)実施</p> <p>・調査結果の集計</p>																			
<p>事業費</p> <p>補助対象額</p>																				
<p>事業名</p>	計画																			
	実績																			
<p>事業費</p> <p>補助対象額</p>																				
<p>事業名</p>	計画																			
	実績																			
<p>事業費</p> <p>補助対象額</p>																				

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

日高村佐川町学校組合教育委員会

総事業費 1,646,200円 補助対象額 1,646,200円 交付決定額 823千円 事業件数 1件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	実施期間												事業費執行済額	補助対象額	事業費執行済額	補助対象額
	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12				
1. 教職員の指導力向上及び地域等への啓発活動 ○ 教育委員会・小中学校合同研修会 (2回) 参加対象: 教育委員会及び小中学校教職員 33名 ○ 小中学校合同校内研修 ○ 出前授業 ○ 小中合同学力に関する協議会 ○ 合同教育講演会(学校・PTA・地域・教育委員会 100名程度) 2. 学力定着への取組み (発達障害等、配慮を要する児童生徒と学習状況の定着が不十分な児童生徒への支援) ○ 学習支援員 1名(加茂小学校) 勤務日数140日	学習支援員 (13日)	学習支援員 (12日)	学習支援員 (17日)	学習支援員 (8日)		学習支援員 (16日)	学習支援員 (15日)	学習支援員 (16日)	学習支援員 (10日)	学習支援員 (11日)	学習支援員 (15日)	学習支援員 (8日)	教育委員会・小中学校合同研修会 予定通り2回実施。発達障害の子どもの対応や学習について研究を深め、日々の教育活動に反映できている。学習支援員 配慮を要する児童生徒、学習状況の定着が不十分な児童生徒への支援は、計画通り実施できている。 A・B・C (※1) A・B・C (※2)	見込まれる成果 ・発達障害や生活・学習面において特別な支援(個別指導)等を要する児童生徒の学校適応、人間関係づくりの向上 ・不登校や非行問題等の未然防止 ・小・中学校の連携教育の強化 ・基礎学力の定着と学力の向上		
	小中合同委員会	教育委員会・学校合同研修会①	小中合同授業研究会	ひらかれた学校づくり委員会	教育委員会・学校合同研修会②		加茂地区教育講演会		校内授業研究会		校内授業研究会	ひらかれた学校づくり委員会			小中連携研究会	
事業費 1,646,200円 補助対象額 823,000円													円	円		
2.	計画												A・B・C A・B・C	事業費執行済額 円	補助対象額 円	
	実績															
事業費 補助対象額													円	円		
3.	計画												A・B・C A・B・C	事業費執行済額 円	補助対象額 円	
	実績															
事業費 補助対象額													円	円		

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

中笠地区教育研究会

総事業費 3,000,000円 補助対象額 3,000,000円 交付決定額 1500千円 事業件数 1件

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	事業進捗状況												事業進捗状況	今後の具体的な取組		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
事業名 平成22年度中笠地区教育研究会活動推進事業 ①広域的な教職員の研究体制の構築並びに活動(10教科部会) ②OJTの設立に向けた共同研究 ・臨時職員の雇用(教員OB) 研究・研修体制、運営の確立すること及び研究・研修時における指導、助言が不可欠なため、雇用する。 ・研究会、研修会開催(統一研修日) ①部員総会(年1回) 教育行政方針の確認、研究課題の確認及び部会組織(部長等選出)、部会テーマ、課題確認、年間計画、予算等決定、中笠地区教職員全員参加 ②部会(年4回) 13部会等において部員総会で決定した年間計画により研究、研修を統一研修日実施する。 ・研究集約冊子の作成、配付 研究、研修の総括として作成、各校へ配布し、次年度以降の取り組みや指導改善に活用する。 ※運営委員会一中笠5ヶ町村公立学校長代表5名 主任指導員(事務局)中笠5ヶ町村研修指導員5名 臨時職員(教員OB)場所…田野町教育センター	計画 ①運営委員会 日(部員総会・部会計画立案)	①統一研修日(部員総会・部会計画立案)	②統一研修日(部員総会)	③統一研修日(部員総会)	④統一研修日(部員総会)	⑤統一研修日(部員総会)	⑥統一研修日(部員総会)	⑦統一研修日(部員総会)	⑧統一研修日(部員総会)	⑨統一研修日(部員総会)	⑩統一研修日(部員総会)	⑪統一研修日(部員総会)	⑫統一研修日(部員総会)	⑬統一研修日(部員総会)	⑭運営委員会4回、統一研修会3回、概ね計画通りに進んでいる。臨時職員(教員OB)の雇用が7月からとなったが、適宜指導、助言を頂いている。8/10のアンケートではO部会の研究は有意義である・まあまあ有意義であるを合わせて87%であった。O部会の研究で自校の授業に活かしている・まあまあ活かしているを合わせて76%であった。今後は新たな部会設置や研修会の検討も考えている。 O部会3回実施した統一研修会参加者は、区べ441名(1回平均147名)であり、中笠地区全体で約180名の教職員が一斉に参る研修体制が構築された。	これまでの町村単位から、中笠地区教育研究会という広域的な組織において、左記の内容(活動)を通じ、教職員の資質、指導力の向上、ミドルリーダーの育成が期待でき、中笠地区全体の児童生徒の学力向上と教職員の指導力改善が図られる。
	実績 ①運営委員会(4月22日) ①統一研修日(部員総会・基本方針確認・部会計画立案)【5月25日 安田町文化センター】 ②統一研修日(部員総会)【6月1日】 ③統一研修日(部員総会)【6月10日 田野町ふれあいセンター】 ④統一研修日(部員総会)【6月23日】															
事業費 3,000,000円 補助対象額 3,000,000円	← 校内研修の充実(OJTの推進) → ← 臨時職員(教員OB)雇用 →												216,122円	円		

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。

総事業費	640,000円	補助対象額	640,000円	交付決定額	320千円	事業件数	1件
------	----------	-------	----------	-------	-------	------	----

3 各事業別の今後の具体的な取組

事業名	計画	進捗状況	備考	事業費執行済額	事業費執行済額
<p>1) 福北地域教員・保育士スキルアップ後</p> <p>1) 福北地域教員コーチング研修 年間1回2日間 対象:福北地域教員 定員30名 内容:児童・生徒・保護者との人間関係づくり、学校組織力向上について</p> <p>2) 福北地域教員全体研修会 年間1回1日 対象:福北地域全教員(園児研修) 内容:高知県の教育の方向性について、地域コミュニティとつながりのある学校について</p> <p>3) 福北地域保育士等レベルアップ研修会 年間1回1日 対象:福北地域全保育関係者(園児研修)、学校関係者 内容:保育指針について、保小中連携について、高知県の保育について</p>	<p>計画</p> <p>コーチング研修(10名) 契約交渉 契約 研修内容/中心・項目 研修会 上記</p> <p>研修内容・研修場決定 研修会開催 研修会 上記</p> <p>研修内容 研修会 研修会 上記</p> <p>研修内容 研修会 研修会 上記</p> <p>実施</p> <p>見直しを踏まえ、受けを行った 実行 研修会 研修会 研修会 研修会</p> <p>「学校と地域の協力」 市土町学校長 田崎 春 本部長 「凡事徹底、凡事一貫、徹底力」 高知県 中務 俊史 教育長</p> <p>福北管内 保育士等 研修会 14名、各地教委 協賛等々</p> <p>アンケートに よる研修の進 捗及び、地 教委へ協力 関係維持</p> <p>福北管内 保育士等 研修会 14名、各地教委 協賛等々</p> <p>研修内容/ 研修会 研修会 研修会 研修会</p>	<p>福北管内での 協賛等の 実施</p> <p>○市教委が研修会 開催の意向を示す ことになり、今後市教委 協賛する予定。 ○県教委の協賛で 研修会を開催する ことになり、今後 協賛する予定。 ○今日の研修会 終了後、市教委 からの研修会 開催の意向を示す ことになり、今後 協賛する予定。 ○今日の研修会 終了後、市教委 からの研修会 開催の意向を示す ことになり、今後 協賛する予定。</p> <p>○市教委が研修会 開催の意向を示す ことになり、今後市教委 協賛する予定。 ○県教委の協賛で 研修会を開催する ことになり、今後 協賛する予定。 ○今日の研修会 終了後、市教委 からの研修会 開催の意向を示す ことになり、今後 協賛する予定。 ○今日の研修会 終了後、市教委 からの研修会 開催の意向を示す ことになり、今後 協賛する予定。</p>	<p>A・B・C(※2)</p> <p>A・B・C(※1)</p> <p>288,697円</p> <p>円</p>	円	円
事業費	640,000円	補助対象額	640,000円		
事業名					
事業費		補助対象額			
事業名					
事業費		補助対象額			

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。

※2 最終検証 A:日進月進であることが確認でき、今後の取り組みが期待される。 B:日進月進であることが確認でき、今後の取り組みが期待される。 C:日進月進であることが確認でき、今後の取り組みが期待される。

平成22年度 教育版「地域アクションプラン」事業進捗管理表

地教委名

高岡地区市町村教育委員会連合会

総事業費	579,850円	補助対象額	573,851円	交付決定額	283千円	事業件数	1件
------	----------	-------	----------	-------	-------	------	----

事業名	進捗状況												事業費執行済額	補助対象額	事業費執行済額	備考	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
2010 高岡教育総合フェスタ ステージ部門 佐市(総合クラブとさ(子どもダンス)、佐川町(総合スポーツクラブさくら合唱団)、越知町(越知中学校吹奏楽、谷の内フラガールズ)、須崎市土佐市(朝ヶ丘中学校・高岡中学校合同吹奏楽)、中土佐町(大野見北っ子太鼓)、その他日高村(日下小の旗)や四万十町(四万十高校)県生涯学習課(早寝・早起き・朝ごはんキャンペーン、読み聞かせの取り組みについて)など。 講演は、ハンナのかばんで有名なホロコースト教育資料センター代表石岡史子さん 展示部門 越知町(越知小学校総合学習「仁淀川についての研究」)、須崎市(須崎工業高校「教育活動制作物」四国自然史科学センター「未定」)四万十町(四万十高校「自然環境教育の取組み」)など。 体験コーナーでは、須崎市(かわうそお手玉の会「お手玉遊びとお手玉づくり」)その他。													579,850円	573,851円	579,850円	573,851円	このフェスタに向け開催される高岡地区の各市町村担当者による代表者会は、担当者同士をつなぐ大きな絆となる。このことは、高岡地区の教育委員会同士を結びつける大きな役割を果たす。さらに生涯学習の振興に資することや地域の活性化をめざし取り組むことにより高岡地区の住民の知識・経験や学習など、地域の教育力向上が図られる。
第3回代表者会(須崎市)・第一次案内送付 第4回代表者会(須崎市)・第1回担当者会(須崎市)・第1回実行委員会(須崎市)																	
H22.4.13須崎市保健センター、第3回代表者会、参加人員(14名)																	
H22.8.31、高岡教育フェスタ反省会、須崎市保健センター、(参加人員10名)																	
事業費 579,850円 補助対象額 573,851円																	
事業名	計画																
事業名	実績																
事業費																	
事業名	計画																
事業名	実績																
事業費																	

※1 中間検証 A:全体として、予定以上に進んでいる。 B:全体として、予定どおり進んでいる。 C:全体として、予定どおり進んでいない。
 ※2 最終検証 A:目標を達成することができ、かつ想定以上の成果が得られた。 B:目標を達成することができた。 C:目標を達成することができなかった。